一般演題プログラム

（一般演題）口演

※本号（（　）内）のページ数を掲載しております。

（一般演題）口演			プログラム	抄録
11月24日(木)	臨床：抗HIV療法１	9：15～10：30	P.41	P.165
	抗HIV療法２	10：45～12：00	P.41	P.168
	生活習慣病１	9：15～10：30	P.42	P.171
	日和見感染１	10：45～12：00	P.43	P.174
	悪性腫瘍１	9：15～10：30	P.43	P.177
	薬剤耐性	10：45～12：00	P.44	P.180
	肝炎・肝膿瘍	14：45～16：15	P.45	P.183
	基礎：複製	9：15～10：30	P.46	P.186
	免疫	10：45～12：00	P.46	P.189
	臨床：免疫再構築・日和見感染２	14：45～16：15	P.47	P.192
	社会：検査１	9：15～10：45	P.48	P.195
	政策１	11：00～12：00	P.49	P.197
	臨床：症例報告	14：45～16：15	P.49	P.200
	社会：カウンセリング	9：15～10：45	P.50	P.203
	疫学	11：00～12：00	P.51	P.206
	行動科学・意識調査	14：45～16：15	P.51	P.208
11月25日(金)	臨床：悪性腫瘍２・生活習慣病２	10：45～11：45	P.52	P.210
	副作用	10：45～11：45	P.52	P.212
	服薬アドヒアランス	9：00～10：30	P.53	P.215
	針刺し事故・その他	10：45～11：45	P.54	P.218
	基礎：宿主因子	9：00～10：30	P.54	P.220
	潜伏感染	10：45～11：45	P.55	P.224
	社会：政策２	9：00～10：30	P.56	P.226
	社会：検査２	10：45～11：45	P.56	P.229
	陽性者支援・ソーシャルワーク	10：30～11：45	P.57	P.232
11月26日(土)	臨床：看護	10：30～11：45	P.58	P.235
	臨床薬理	10：45～11：45	P.58	P.238
	母子感染・歯科	13：15～14：45	P.59	P.240
	基礎：分子疫学	9：00～10：30	P.60	P.243
	新薬開発と薬剤耐性	10：45～11：45	P.61	P.246
	社会：薬害	9：00～10：30	P.62	P.249
	薬物使用	10：45～11：45	P.62	P.252
	予防教育	9：00～10：30	P.63	P.254

■日時：11 月 24 日（木） 9：15 ～ 10：30
■会場：B会場（大ホールA）

O1 臨床：抗 HIV 療法 1

座長 立川夏夫
（横浜市立市民病院 感染症内科）

鯉渕智彦
（東京大学 医科学研究所附属病院 感染免疫内科）

O1-001 抗 HIV 療法中断時の臨床所見の増悪に関する研究

松澤幸正、安達英輔、菊地 正、古賀道子、鯉渕智彦

東京大学医科学研究所附属病院

O1-002 Increased total HIV DNA levels in long-term treated patients with hemophilia

Stanoeva Kamelia[1)]、Koenig Andre[2)]、Fukuda Asami[3)]、Kawanami Yoko[1)]、Kuwata Takeo[1)]、Satou Yorifumi[3)]、Matsushita Shuzo[1)]

1）Matsushita Project Lab., Center for AIDS Research, Kumamoto University, Japan
2）Faculty of Statistics, Technical University Dortmund, Dortmund, Germany、
3）Satou Project Lab., Center for AIDS Research, Kumamoto University, Japan

O1-003 抗 HIV 薬の選択と年齢に関する調査

原 量平[1)]、増田純一[1)]、赤沢 翼[1)]、押賀充則[1)]、早川史織[1)]、佐藤麻希[1)]、照屋勝治[2)]、潟永博之[2)]、塚田訓久[2)]、桑原 健[1)]、菊池 嘉[2)]、岡 慎一[2)]

1）国立国際医療研究センター病院薬剤部
2）国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

O1-004 HIV 感染および抗レトロウイルス療法が小児免疫状態に及ぼす影響

畢 袖晴[1)]、石崎有澄美[1)]、Nguyen Lam Van[2)]、松田一乗[3)]、Pham Hung Viet[2)]、Phan Chung Thi Thu[2)]、緒方清仁[3)]、Phung Thuy Thi Bick[2)]、Pham An Nhat[2)]、Khu Dung Thi Khanh[2)]、市村 宏[1]

1）金沢大学医薬保健研究域医学系 ウイルス感染症制御学
2）ベトナムハノイ国立小児病院
3）ヤクルト本社中央研究所

O1-005 当院通院中の HIV/AIDS 患者にみる抗 HIV 療法の効果、通説の検証

坂部茂俊[1)]、豊嶋弘一[1)]、小倉香里[2)]、森尾志保[2)]、服部公紀[3)]、玉石雄也[1)]

1）日本赤十字社 伊勢赤十字病院 感染症内科
2）日本赤十字社 伊勢赤十字病院 看護部
3）日本赤十字社 伊勢赤十字病院 薬剤部

O1-006 ドルテグラビル使用 HIV 感染症患者における血清シスタチン C 測定の有用性

吉野友祐、妹尾和憲、古賀一郎、北沢貴利、太田康男

帝京大学医学部内科学講座感染症

■日時：11 月 24 日（木） 10：45 ～ 12：00
■会場：B会場（大ホールA）

O2 臨床：抗 HIV 療法 2

座長 横幕能行
（国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター）

山元泰之
（東京医科大学 臨床検査医学）

O2-007 ツルバダ配合錠及びビリアード錠 300mg の国内使用状況と副作用についての検討

小松文美、池田篤史、菊池明男、南 千晶、山田良一、澤井聡子、丹 求

日本たばこ産業株式会社 医薬事業部 医薬情報部

O2-008 当院におけるドルテグラビル（DTG）の使用経験

坂部茂俊[1)]、豊島弘一[1)]、小倉香里[2)]、森尾志保[2)]、服部公紀[3)]

1）日本赤十字社 伊勢赤十字病院 感染症内科
2）日本赤十字社 伊勢赤十字病院 看護部
3）日本赤十字社 伊勢赤十字病院 薬剤部

O2-009 当院における rilpivirine の使用成績（96 週間）

吉村幸浩、宮田順之、宮島真希子、坂本洋平、天野雄一郎、立川夏夫

横浜市立市民病院感染症内科

O2-010 Dolutegravir単独療法で維持療法に至った2例に関する検討

立川夏夫[1)]、吉村幸浩[1)]、天野雄一郎[1)]、
坂本洋平[1)]、宮島真希子[1)]、宮田順之[1)]、
吉村　歩[2)]、須佐友美[2)]、宮林優子[3)]、
寺澤美穂[3)]、五十嵐俊[4)]

1）横浜市立市民病院感染症内科
2）横浜市立市民病院薬剤部
3）横浜市立市民病院看護部
4）横浜市立脳卒中・神経脊椎センター薬剤部

O2-011 抗 HIV 療法を新規に開始した患者の臨床経過の検討

菊地　正

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

O2-012 抗 HIV 薬による治療経験がありウイルス学的に抑制されている HIV-1 感染症患者に F/TAF を投与した第 III 相臨床試験における低体重被験者での安全性の評価

松下修三[1)]、中本泰充[2)]、池田篤史[2)]、
MingjinYan[3)]、MichaelAbram[3)]、
AndyPlummer[3)]、MartinRhee[3)]

1）国立大学法人 熊本大学 エイズ学研究センター
2）日本たばこ産業株式会社
3）Gilead Sciences Inc.

■日時：11 月 24 日（木） 9：15 ～ 10：30

■会場：C会場（中ホール）

O3 臨床：生活習慣病 1

座長　今村顕史
（がん・感染症センター 都立駒込病院感染症科）

南　留美
（国立病院機構九州医療センター　免疫感染症内科）

O3-013 当院における HIV 感染患者に合併した心血管疾患の検討

一木昭人[1)]、四本美保子[1)]、上久保淑子[1)]、
近澤悠志[1)]、備後真登[1)]、村松　崇[1)]、
萩原　剛[1)]、鈴木隆史[1)]、山元泰之[1)]、
天野景裕[1,2)]、福武勝幸[1,2)]

1）東京医科大学臨床検査医学分野
2）東京医科大学血液凝固異常症遺伝子研究寄附講座

O3-014 HIV 感染者における内臓脂肪面積測定の臨床的意義

古西　満[1,2)]、宇野健司[2)]、治田匡平[3)]、
青井博志[3)]、赤澤紫乃[3)]、谷口美苗[4)]、
吉井誠也[2)]、吉原真吾[2)]、藤倉裕之[2)]、
平位暢康[2)]、今井雄一郎[2)]、小川吉彦[2)]、
小川　拓[2)]、米川真輔[2)]、笠原　敬[2)]、
三笠桂一[2)]

1）奈良県立医科大学健康管理センター
2）奈良県立医科大学感染症センター、
3）奈良県立医科大学附属病院薬剤部
4）奈良県立医科大学附属病院看護部

O3-015 HIV 感染患者の骨密度および骨関連マーカーの検討

関　義信[1)]、成田清子[3)]、高橋晴代[3)]、
影向　晃[2)]、田中克幸[4)]

1）新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センター
　血液内科
2）新潟県立新発田病院内科
3）新潟県立新発田病院看護部
4）新潟県立新発田病院薬剤部

O3-016 HIV 感染者の骨粗鬆症に対する治療導入後の経過

高濱宗一郎[1)]、古賀康雅[1)]、南　留美[1)]、
山地由恵[2)]、犬丸真司[2)]、長與由紀子[2)]、
城崎真弓[2)]、山本政弘[1)]

1）九州医療センター　免疫感染症内科
2）九州医療センター　看護部

O3-017 HIV 陽性者における BMI と CD4 カウントとの関連性

福田里奈[1)]、加藤久美子[1)]、白野倫徳[2)]、
清水菜美[1)]、後藤哲史[2)]、笠松　悠[2)]、
飯田　康[2)]、森村　歩[2)]、豊島裕子[3)]、
市田裕之[4)]、羽生大記[1)]

1）大阪市立大学大学院生活科学研究科
2）大阪市立総合医療センター 感染症内科
3）大阪市立総合医療センター 看護部
4）大阪市立総合医療センター 薬剤部

O3-018 HIV 感染症合併血友病患者に対する MRI による脳スクリーニングの意義

遠藤知之[1,2)]、宮下直洋[1,3)]、笠原耕平[1,3)]、
小杉瑞葉[1)]、岡田耕平[1)]、白鳥聡一[1)]、
後藤秀樹[1)]、杉田純一[1)]、小野澤真弘[1)]、
橋本大吾[1)]、加畑馨[1)]、藤本勝也[1,2)]、
近藤　健[1)]、橋野　聡[2,4)]、豊嶋崇徳[1,2)]

1）北海道大学病院　血液内科
2）北海道大学病院　HIV 診療支援センター
3）エイズ予防財団
4）北海道大学　保健センター

■日時：11 月 24 日（木） 10：45 ～ 12：00
■会場：C会場（中ホール）

O4 臨床：日和見感染 1

座長 照屋勝治
（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

四本美保子
（東京医科大学 臨床検査医学）

O4-019 当院における空洞・嚢胞性病変を呈した AIDS 合併ニューモシスチス肺炎の検討

小林宣彦[1)]、小川孔幸[1)]、柳澤邦雄[1)]、
内海英貴[2)]、合田 史[3)]、馬渡桃子[4)]、
石崎芳美[5)]、中村聡洋[5)]、小林瑞枝[5)]、
兒玉智子[6)]、野島美久[1)]、半田 寛[1)]

1）群馬大学医学部附属病院 血液内科／群馬大学大学院医学系研究科 生体統御内科
2）医療法人社団日高会 白根クリニック
3）国立病院機構高崎総合医療センター 総合診療科
4）群馬大学医学部附属病院 感染制御部
5）群馬大学医学部附属病院 看護部
6）群馬大学医学部附属病院 薬剤部

O4-020 HIV 感染症合併ニューモシスチス肺炎に対するβ -D- グルカンの有用性

小林泰一郎、照屋勝治、上村 悠、
柳川泰昭、水島大輔、西島 健、木内 英、
塚田訓久、潟永博久、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

O4-021 後天性免疫不全症候群に合併した肺アスペルギルス症の 3 症例

飯野宏允、柳沢邦雄、清水啓明、三井健揮、
小川孔幸、石埼卓馬、野島美久、半田 寛

群馬大学医学部附属病院 血液内科 /
群馬大学大学院 医学系研究科 生体統御内科

O4-022 結核性髄膜炎で発症し治療に難渋した AIDS の一剖検例

森村 歩[1)]、笠松 悠[1)]、宮内清司[2)]、
飯田 康[1)]、白野倫徳[1)]、後藤哲志[1)]

1）大阪市立総合医療センター 感染症内科
2）愛媛県立新居浜病院 救急科

O4-023 AIDS 関連クリプトコックス髄膜炎の臨床的検討

安藤尚克、青木孝弘、篠原 浩、橋本武博、
上村 悠、小林泰一郎、柳川泰昭、木内 英、
西島 健、水島大輔、潟永博之、照屋勝治、
塚田訓久、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療･研究開発センター

O4-024 HIV 関連リンパ腫症例における CMV 脳炎合併の後方視的検討

篠原 浩[1)]、萩原將太郎[2)]、水島大輔[1)]、
青木孝弘[1)]、西島 健[1)]、木内 英[1)]、
塚田訓久[1)]、照屋勝治[1)]、菊池 嘉[1)]、
潟永博之[1)]、岡 慎一[1)]

1）独立行政法人 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター
2）独立行政法人 国立国際医療研究センター病院 血液内科

■日時：11 月 24 日（木） 9：15 ～ 10：30
■会場：D会場（大研修室 1）

O5 臨床：悪性腫瘍 1

座長 味澤 篤
（東京都保健医療公社 豊島病院 感染症科）

西島 健
（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

O5-025 全身性 HIV 関連リンパ腫の臨床的検討

味澤 篤[1)]、福島一彰[2)]、田中 勝[2)]、
佐々木秀悟[2)]、関谷綾子[2)]、関谷紀貴[3)]、
矢嶋敬四郎[2)]、柳澤如樹[2)]、菅沼明彦[4)]、
今村顕史[2)]

1）東京都保健医療公社豊島病院感染症科
2）がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
3）がん・感染症センター都立駒込病院臨床微生物科
4）杏林病院

O5-026 HIV 関連 Burkitt リンパ腫に対する CODOX-M/IVAC の有効性についての検討

池内和彦[1)]、福島一彰[1)]、佐々木秀悟[1)]、
関谷綾子[1)]、関谷紀貴[2)]、矢嶋敬史郎[1)]、
柳澤如樹[1)]、味澤 篤[1,3)]、今村顕史[1)]

1）がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
2）がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
3）東京都保健医療公社豊島病院

O5-027 タリウム +BMIPP 心筋シンチグラフィによる高容量リポソーマル化ドキシルビシン投与下の心機能評価

外島正樹、鈴木　潤、畠山修司、森澤雄司

自治医科大学　臨床感染症センター　感染症科

O5-028 リツキシマブによる治療後に寛解を維持している HIV 合併 Multicentric Castleman Disease の 3 例

松原昌平[1)]、福島一彰[1)]、柳澤如樹[1)]、
佐々木秀悟[1)]、関谷綾子[1)]、関谷紀貴[2)]、
矢嶋敬史郎[1)]、味澤　篤[1,3)]、今村顕史[1)]

1）がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
2）がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
3）東京都保健医療公社豊島病院

O5-029 ART 治療中に症候性多発性骨髄腫を発症し、寛解後に Plasmablastic plasmacytoma（or lymphoma）を口腔領域に発症して腫瘍死した一剖検例

宮城島拓人[1)]、押野智博[1)]、更科耕一郎[1)]、
山村貴洋[1)]、松田宗一郎[1)]、千葉雅尋[1)]、
中野真太郎[1)]、松川敏大[1)]、小林良充[1)]、
羽場　真[1)]、高橋一宏[1)]、寺下勝巳[1)]、
曽我部進[1)]、小田　寿[1)]、藤盛真樹[2)]、
高橋達郎[3)]

1）釧路労災病院内科
2）釧路労災病院歯科口腔外科
3）釧路労災病院病理

O5-030 脳原発悪性リンパ腫を合併したトキソプラズマ脳炎の再発例

鷲野巧弥[1)]、矢嶋敬史郎[1)]、福島一彰[1)]、
佐々木秀悟[1)]、関谷綾子[1)]、関谷紀貴[2)]、
柳澤如樹[1)]、彦坂健児[3)]、佐藤哲生[3)]、
野呂瀬一美[3)]、味澤　篤[4)]、今村顕史[1)]

1）がん・感染症センター都立駒込病院　感染症科
2）がん・感染症センター都立駒込病院　臨床検査科
3）千葉大学大学院医学研究院　感染生体防御学
4）東京都保健医療公社豊島病院

■日時：11 月 24 日（木）　10：45 ～ 12：00
■会場：D会場（大研修室 1）

O6　臨床：薬剤耐性

座長　古賀道子
（東京大学　医科学研究所附属病院　感染免疫内科）

宮川寿一
（熊本大学医学部附属病院　感染免疫診療部）

O6-031 国内新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV-1 の動向

岡崎玲子[1)]、蜂谷敦子[1)]、潟永博之[2)]、
渡邉　大[3)]、長島真美[4)]、貞升健志[4)]、
近藤真規子[5)]、南　留美[6)]、吉田　繁[7)]、
小島洋子[8)]、森　治代[8)]、内田和江[9)]、
椎野禎一郎[10)]、加藤真吾[11)]、豊嶋崇徳[7)]、
佐々木　悟[12)]、伊藤俊広[12)]、猪狩英俊[13)]、
上田敦久[14)]、石ヶ坪良明[14)]、太田康男[15)]、
山元泰之[16)]、福武勝幸[16)]、古賀道子[17)]、
林田庸総[2)]、岡　慎一[2)]、松田昌和[1)]、
重見　麗[1)]、濱野章子[1)]、横幕能行[1)]、
渡邉珠代[18)]、田邊嘉也[19)]、藤井輝久[20)]、
高田清式[21)]、山本政弘[6)]、松下修三[22)]、
藤田次郎[23)]、健山正男[23)]、岩谷靖雅[1,24)]、
吉村和久[10)]

1）（独）名古屋医療センター
2）国立国際医療研究センター
3）（独）大阪医療センター
4）東京都健康安全研究センター
5）神奈川県衛生研究所
6）（独）九州医療センター
7）北海道大学
8）大阪府立公衆衛生研究所
9）埼玉県衛生研究所
10）国立感染症研究所
11）慶應義塾大学
12）（独）仙台医療センター
13）千葉大学
14）横浜市立大学
15）帝京大学
16）東京医科大学
17）東京大学医科学研究所
18）石川県立中央病院
19）新潟大学
20）広島大学
21）愛媛大学
22）熊本大学
23）琉球大学
24）名古屋大学大学院

O6-032 ドルテグラビルを用いた HIV-1 未治療患者対象試験 96 週及び 144 週までのウイルス学的失敗時のウイルス量及び薬剤耐性解析

藤原民雄[1)]、James Demarest[2)]、Romina Quercia[2)]、Andrew Zolopa[2)]、Marty St Clair[2)]、Brian Wynne[2)]、Mark Underwood[2)]、Catherine Granier[3)]、Michael Aboud[2)]

1）塩野義製薬
2）ViiV Healthcare
3）GlaxoSmithkline

O6-033 臨床検体から見出された新規耐性関連変異によるドルテグラビル高度耐性獲得の分子機構の解明

蜂谷敦子[1,2)]、中島雅晶[1)]、井戸陽子[1)]、重見　麗[1)]、岡崎玲子[1)]、松田昌和[1)]、今村淳治[1)]、横幕能行[1)]、岩谷靖雅[1,3)]

1）（独）国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
2）（独）国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター 臨床研究事業部
3）名古屋大学大学院医学系研究科）

O6-034 ラルテグラビル施行中の臨床検体から見出された新規耐性関連変異

井戸陽子[1)]、蜂谷敦子[1,2)]、中島雅晶[1)]、重見　麗[1)]、岡崎玲子[1)]、松田昌和[1)]、今村淳治[1)]、横幕能行[1)]、岩谷靖雅[1,3)]

1）（独）国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
2）（独）国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター 臨床研究事業部
3）名古屋大学大学院医学系研究科

O6-035 当センターにおける耐性獲得症例でのレジメン選択の後方視的検討

青木孝弘、安藤尚克、橋本武博、篠原　浩、上村　悠、柳川泰昭、小林泰一郎、水島大輔、西島　健、木内　英、塚田訓久、照屋勝治、潟永博之、菊池　嘉、岡　慎一

国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

O6-036 抗レトロウイルス療法下で形成された潜伏感染細胞内の HIV 転写活性の評価

鈴木一雄

St Vincent's Centre for Applied Medical Research, Sydney, Australia

■日時：11 月 24 日（木）　14：45 ～ 16：15
■会場：D会場（大研修室 1）

O7　臨床：肝炎・肝膿瘍

座長　萩原　剛
（東京医科大学　臨床検査医学）

三田英治
（大阪医療センター）

O7-037 次世代シークエンサーを用いた HCV のフルゲノム配列の決定

石田裕樹[1,2)]、上村　悠[1)]、土屋亮人[1)]、菊池　嘉[1)]、潟永博之[1)]、岡　慎一[1)]

1）国立国際医療研究センター
2）公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント

O7-038 当院における HIV・HCV 重複感染血友病例の肝炎治療成績

上村　悠[1,2)]、塚田訓久[1)]、柳川泰昭[1,2)]、小林泰一郎[1)]、水島大輔[1)]、西島　健[1)]、青木孝弘[1)]、木内　英[1)]、照屋勝治[1)]、潟永博之[1,2)]、菊池　嘉[1)]、岡　慎一[1,2)]

1）国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
2）熊本大学エイズ学研究センター

O7-039 HIV/HCV 重複感染に対しソホスブビル / レジパスビル併用療法を行った 2 例

澤田暁宏、日笠　聡、徳川多津子、小川啓恭

兵庫医科大学　血液内科

O7-040 HIV/HCV 重複感染血友病患者における LDP/SOF の有効性と抗 HIV 剤との相互作用に関する検討

片山春奈、長尾　梓、花房秀次

荻窪病院

O7-041 HIV 感染者における非アルコール性脂肪肝疾患（NAFLD）の検討

古賀道子、菊地　正、安達英輔、松澤幸正、鯉渕智彦

東京大学医科学研究所附属病院

O7-042 アメーバ性肝膿瘍重症化リスクに関する後方視的検討

柳川泰昭[1)]、渡辺恒二[1)]、塚田訓久[1)]、上村　悠[1,3)]、小林泰一郎[1)]、水島大輔[1,3)]、西島　健[1)]、青木孝弘[1)]、木内　英[1)]、三神信太郎[2)]、永田尚義[2)]、照屋勝治[1)]、潟永博之[1,3)]、菊池　嘉[1)]、柳瀬幹雄[2)]、岡　慎一[1,3)]

1）国立研究開発法人　国立国際医療研究センター病院 エイズ治療研究開発センター
2）国立研究開発法人　国立国際医療研究センター病院 消化器内科
3）熊本大学医学部大学院　エイズ学研究センター

■日時：11 月 24 日（木）　9：15 ～ 10：30
■会場：E 会場（大研修室 2）

O8　基礎：複製

座長　櫻木淳一
（大阪大学　微生物病研究所　ウイルス感染制御分野）

芳田　剛
（東京医科歯科大学　ウイルス制御学）

O8-043 複製前期過程に障害を有する HIV-1 マトリックス（MA）変異体のウイルス学的解析

引地優太[1,2)]、武田英里[3)]、藤野真之[1)]、Freed Eric[4)]、中山英美[3)]、村上　努[1)]

1）国立感染症研究所　エイズ研究センター
2）東京大学　医科学研究所
3）大阪大学　微生物病研究所　ウイルス感染制御分野
4）HIV Dynamics and Replication Program Center for Cancer Research National Cancer Institute, USA

O8-044 HIV-1Gag p1 の機能的解析

櫻木淳一、櫻木小百合、塩田達雄

大阪大学　微生物病研究所　ウイルス感染制御分野

O8-045 HIV-1 Vif PPLP 領域の APOBEC3 の分解における役割

都築伸弥[1,2)]、大出裕高[1)]、濱野章子[1)]、岡田彩加[1)]、粟津宏昭[1,2)]、蜂谷敦子[1)]、横幕能行[1)]、渡邉信久[2,3)]、岩谷靖雅[1,4)]

1）独立行政法人　国立病院機構　名古屋医療センター 臨床研究センター　感染・免疫研究部名古屋大学大学院工学研究科　構造生物工学研究室
2）名古屋大学　シンクロトロン光研究センター
3）名古屋大学大学院医学研究科　免疫不全統御学講座

O8-046 新規トリテルペン系抗 HIV 侵入阻害剤の耐性機序解析

引地優太[1)]、原田恵嘉[1)]、荻原香澄[2)]、俣野哲朗[1)]、鳴海哲夫[2)]、吉村和久[1)]

1）国立感染症研究所　エイズ研究センター
2）静岡大学大学院 総合科学技術研究科工学専攻

O8-047 CPSF6 結合能がサル指向性 HIV-1 の fitness に与える影響

齊藤　暁、Jason Nomburg、Tahmina Sultana、中山英美、塩田達雄

大阪大学微生物病研究所　ウイルス感染制御分野

O8-048 HIV-1 の感染を抑制する宿主因子候補の単離

芳田　剛[1)]、濱野章子[1)]、武内寛明[1)]、山岡昇司[1)]

1）東京医科歯科大学　ウイルス制御学
2）東京医科歯科大学　医歯学総合研究科　ウイルス制御学分野

■日時：11 月 24 日（木）　10：45 ～ 12：00
■会場：E 会場（大研修室 2）

O9　基礎：免疫

座長　石井　洋
（国立感染症研究所　エイズ研究センター）

近田貴敬
（熊本大学エイズ学研究センター）

O9-049 Hck might be the key player in the quadruple interaction between HIV-1Nef, CD1a, PAK2 and Hck in down-regulation of CD1 lipid Ag presentation by Nef

Eiji SHINYA[1)]、Masumi SHIMIAZU[1)]、Atsuko OWAKI[1)]、Lucia MORI[2)]、Gennaro DE LIBERO[2)]、Hidemi TAKAHASHI[1)]

1）Microbiology and Immunology, Nippon Medical School
2）Singapore Immunology Network

O9-050 SIV 感染サルエイズモデルにおいて逃避変異に対して交差反応性を示す CTL 応答の解析

石井　洋[1)]、城森　萌[1,2)]、関　紗由里[1)]、松岡佐織[1)]、俣野哲朗[1,2)]

1）国立感染症研究所　エイズ研究センター
2）東京大学　医科学研究所

O9-051 ART 中の reservoir である NKT 細胞の制御に関わるγδ T 細胞の役割

松村次郎、大脇敦子、清水真澄、大倉定之、新谷英滋、高橋秀実

日本医科大学微生物学・免疫学

O9-052 ベトナム人 HIV-1 サブタイプ A/E 感染者コホートにおけるエイズ病態進行に関与する HLA アリルの探索

近田貴敬[1)]、Van TranGiang[1)]、村越勇人[1)]、田村美子[1)]、赤星智寛[1)]、久世　望[1)]、阪井恵子[1)]、小柳　円[1)]、Kinh VanNguyen[2)]、滝口雅文[1,3)]

1）熊本大学エイズ学研究センター
2）ベトナム国立熱帯病病院
3）オックスフォード大学

O9-053 The effect of a single CTL escape -mutation on HIV-1 control by NK cell functions

Lin Zhansong[1)]、Kuse Nozomi[1)]、Akahoshi Tomohiro[1)]、Kuroki Kimiko[2)]、Maenaka Katsumi[2)]、Takiguchi Masafumi[1,3)]

1）Center for AIDS Research, Kumamoto University
2）Laboratory of Biomolecular Science, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Hokkaido University
3）Nuffield Department of Medicine, University of Oxford

O9-054 HIV-1 と特異的 CTL の相互適応

赤星智寛[1)]、端本昌夫[1)]、近田貴敬[1)]、田村美子[1)]、潟永博之[2)]、岡　慎一[2)]、滝口雅文[1,3)]

1）熊本大学エイズ学研究センター
2）国立国際医療研究センター、
3）Nuffield Department of Medicine, University of Oxford

■日時：11 月 24 日（木）　14：45 ～ 16：15
■会場：E 会場（大研修室 2）

10　臨床：免疫再構築・日和見感染 2

座長　古西　満
（奈良県立医科大学　健康管理センター）

安岡　彰
（市立大村市民病院）

O10-055 免疫再構築症候群の発症率に関する調査

古西　満[1,2)]、伊藤利洋[3)]、照屋勝治[4)]、宇野健司[2)]、小川吉彦[2)]、小川　拓[2)]、笠原　敬[2)]、三笠桂一[2)]

1）奈良県立医科大学健康管理センター
2）奈良県立医科大学感染症センター
3）奈良県立医科大学免疫学
4）国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

O10-056 HIV 合併クリプトコッカス髄膜炎の免疫再構築症候群発症に関するリスク因子の検討

河内宣之[1)]、福島一彰[1)]、柳澤如樹[1)]、佐々木秀悟[1)]、関谷綾子[1)]、関谷紀貴[2)]、矢嶋敬史郎[1)]、味澤　篤[1,3)]、今村顕史[1)]

1）がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
2）がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
3）東京都保健医療公社豊島病院

O10-057 クリプトコッカス髄膜炎で診断されたいきなり AIDS 症例の髄液所見に関する検討

野口紘幸[1)]、小川孔幸[1)]、柳澤邦雄[1)]、飯野宏允[1)]、石埼卓馬[1)]、石崎芳美[2)]、大高祐美[2)]、中村聡洋[2)]、小林瑞枝[2)]、馬渡桃子[3)]、野島美久[1)]、半田　寛[1)]

1）群馬大学医学部附属病院　血液内科／群馬大学大学院医学系研究科　生体統御内科
2）群馬大学医学部附属病院　看護部
3）群馬大学医学部附属病院　感染制御部

O10-058 HIV 感染者での季節性インフルエンザ罹患率・重症率についての検討

渡邉珠代[1)]、高山次代[2)]、浅田裕子[2)]、下川千賀子[3)]、安田明子[3)]、辻　典子[4)]、斉藤千鶴[1,5)]、小谷岳春[1,5)]

1）石川県立中央病院免疫感染症科
2）同看護部
3）同薬剤部
4）同 HIV 事務室
5）同血液内科

O10-059　HIV 感染症患者に合併したサイトメガロウイルス感染症治療におけるホスカルネットナトリウム投与時の臨床検査値の変化に関する調査

中内崇夫[1)]、矢倉裕輝[1)]、冨島公介[1)]、
山本雄大[2)]、湯川理己[2)]、新　井剛[2)]、
廣田和之[2)]、伊熊素子[2)]、上地隆史[2)]、
笠井大介[2)]、渡辺　大[2)]、西田恭治[2)]、
上平朝子[2)]、白阪琢磨[2)]

1）国立病院機構大阪医療センター薬剤部
2）国立病院機構大阪医療センター感染症内科

O10-060　インド渡航後の HIV 感染者に腸管サイクロスポーラと胆管炎を認めた一例

関谷綾子[1)]、福島一彰[1)]、河内宣之[1)]、
田中　勝[1)]、佐々木秀悟[1)]、矢嶋敬史郎[1)]、
柳澤如樹[1)]、八木田健司[2)]、今村顕史[1)]

1）都立駒込病院感染症科
2）国立感染症研究所寄生動物部

■日時：11 月 24 日（木）　9：15 ～ 10：45
■会場：F 会場（大研修室 3）

11　社会：検査 1

座長　日髙庸晴
（宝塚大学　看護学部）

川畑拓也
（大阪府立公衆衛生研究所　感染症部ウイルス課）

O11-061　医療機関と NGO の連携による、MSM を対象とした HIV 検査 "HIVcheck" における啓発とキット配布体制に関する検討

岩橋恒太[1,4)]、荒木順子[1,4)]、木南拓也[1,4)]、
佐久間久弘[1,4)]、高野　操[2)]、生島　嗣[5)]、
市川誠一[6)]、岡　慎一[3)]

1）特定非営利活動法人 akta
2）国立国際医療研究センター
3）国立国際医療研究センター
　エイズ治療・研究開発センター
4）公益財団法人エイズ予防財団
5）特定非営利活動法人ぷれいす東京
6）人間環境大学

O11-062　地方公共団体と NGO の連携による HIV 検査相談事業の実践

嶋田憲司[1)]、藤部荒術[1)]、河口和也[2)]、
高嶋能文[3)]、飯塚信吾[1)]、太田昌二[1)]、
新美　広[1)]、橋本広志[1)]

1）特定非営利活動法人　動くゲイとレズビアンの会（アカー）
2）広島修道大学
3）医療法人社団めぐみ会 自由が丘メディカルプラザ 2 小児科

O11-063　名古屋市無料 HIV 検査会が HIV 感染症対策に関し個別施策層へ及ぼした効果と今後の課題

横幕能行[1)]、金子典代[2)]、石田敏彦[3)]

1）国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター
2）名古屋市立大学看護学部国際保健看護学
3）ANGEL LIFE NAGOYA

O11-064　大阪府における MSM 向け HIV/STI 検査相談事業・平成 27 年度実績報告

川畑拓也[1)]、小島洋子[1)]、森　治代[1)]、
駒野　淳[2)]、岩佐　厚[3)]、亀岡　博[4)]、
菅野展史[5)]、近藤雅彦[6)]、杉本賢治[7)]、
高田昌彦[8)]、田端運久[9)]、中村幸生[10)]、
古林敬一[11)]、清田敦彦[12)]、伏谷加奈子[13)]、
塩野徳史[14)]、後藤大輔[14)]、町登志雄[14)]、
柴田敏之[15)]、木下　優[15)]

1）大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課
2）国立病院機構名古屋医療センター
3）岩佐クリニック
4）亀岡クリニック
5）菅野クリニック
6）近藤クリニック
7）京橋杉本クリニック
8）高田泌尿器科
9）田端医院
10）中村クリニック
11）そねざき古林診療所
12）清田クリニック
13）ふしたにクリニック
14）MASH 大阪
15）大阪府健康医療部医療対策課

O11-065　保健所における認知行動面接の普及についての検討

古谷野淳子[1)]、西川歩美[2,3)]、日高庸晴[4)]

1）新潟大学医歯学総合病院感染管理部
2）（公財）エイズ予防財団リサーチレジデント
3）大阪医療センター臨床心理室
4）宝塚大学看護学部

■日時：11 月 24 日（木） 11：00 ～ 12：00
■会場：F 会場（大研修室 3）

12 社会：政策 1

座長 城所敏英
（東京都島しょ保健所）

山中京子
（大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉学類）

O12-066 北里大学病院における HIV/AIDS 診療のチーム力と課題

松山晃代[1)]、齊藤聡子[1)]、加藤 笑[1)]、
前田景子[2)]、友田吉則[3)]、松本圭祐[3)]、
田中博之[4)]、和田達彦[5,6)]、高山陽子[6,7)]

1）北里大学病院看護部
2）北里大学病院トータルサポートセンター
3）北里大学病院薬剤部
4）東邦大学薬学部実践医療薬学研究室
5）北里大学病院医学部膠原病・感染内科
6）北里大学病院感染管理室
7）北里大学病院医学部附属紀医療開発センター
横断的医療領域開発部門感染制御学

O12-067 Human Immunodeficiency Virus(HIV) 感染妊婦への受け入れ及び分娩様式に関する全国調査

山嵜 剛[1)]、蓮尾泰之[1)]、宗 邦夫[2)]、
彌永寛子[1)]、林 公一[3)]、明城光三[4)]、
五味淵秀人[5)]、中山香映[6)]、喜多恒和[7)]

1）国立病院機構 九州医療センター
2）久留米大学医学部産科婦人科学
3）関門医療センター産婦人科
4）仙台医療センター産婦人科
5）河北病院産婦人科
6）昭和大学助産学専攻科
7）奈良県総合医療センター

O12-068 がん合併のエイズ患者の長期包括ケアの検討：包括支援のガイドブック作成過程を通して

矢永由里子[1)]、大金美和[2)]、有馬美奈[3)]、
石井祥子[4)]、紅林洋子[5)]、戸蒔祐子[6)]、
藤平輝明[7)]、萩原將太郎[4)]、加藤真樹子[8)]、
岡田誠治[9)]

1）慶應義塾大学医学部感染制御センター
2）国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
3）がん・感染症センター都立駒込病院
4）国立国際医療研究センター病院
5）沼津市立病院
6）慶應義塾大学病院
7）東京医科大学病院
8）大分県厚生連鶴見病院
9）熊本大学エイズ学研究センター

O12-069 愛媛大学医学部附属病院における抗 HIV 薬院外処方開始と今後の展望

乗松真大[1)]、井門敬子[1)]、木村博史[1)]、
若松 綾[2)]、小島潤美[2)]、中尾 綾[3)]、
小野恵子[4)]、末盛浩一郎[3)]、田中 守[1)]、
田中亮裕[1)]、高田清式[5)]

1）愛媛大学医学部附属病院薬剤部
2）愛媛大学医学部附属病院看護部
3）愛媛大学医学部附属病院第一内科
4）愛媛大学医学部附属病院総合サポートセンター
5）愛媛大学医学部附属病院臨床研修センター

O12-070 医療者の曝露予防のための常備用抗 HIV 薬の小分け分譲業務

中村美紀、鶴田逸朗、堅田陽介

一般社団法人 日本薬業育成会 きらめき薬局

■日時：11 月 24 日（木） 14：45 ～ 16：15
■会場：F 会場（大研修室 3）

13 臨床：症例報告

座長 藤井輝久
（広島大学病院 輸血部）

永井英明
（国立病院機構 東京病院 呼吸器センター）

O13-071 HHV-8 関連多中心性キャッスルマン病による肺病変を来した 1 例

長 盛親[1)]、佐藤秀憲[1)]、藤倉雄二[1)]、
叶宗一郎[1)]、緒方 衝[2)]、川名明彦[1)]

1）防衛医科大学校病院内科学（感染症・呼吸器）
2）防衛医科大学校病院検査部

O13-072 多中心性キャッスルマン病に類似した症状を呈して Kaposi Sarcoma Herpesvirus Inflammatory Cytokine Syndrome（KICS）が疑われた HIV 感染者の 1 例

山本雄大、上地隆史、矢嶋敬史郎、渡邊 大、
湯川理己、新井 剛、廣田和之、伊熊素子、
笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

O13-073 NRTI にラルテグラビルおよびダルナビルを含む強化療法を導入した 2 症例

小谷　宙[1,2]、藤原　宏[2]、西松直美[1]、
山口雅也[1]、須藤弘二[3]、加藤真吾[3]、
望月眞弓[1]、長谷川直樹[2]

1）慶應義塾大学病院薬剤部
2）慶應義塾大学病院感染制御センター
3）慶應義塾大学医学部微生物・免疫学教室

O13-074 HIV-RNA 量が良好にコントロールされている AIDS 患者に発症した温式自己免疫性溶血性貧血

松本誠司[1]、竹内麻子[1]、徳永博俊[1]、
徳田佳之[2]、和田秀穂[1]、杉原　尚[1]

1）川崎医科大学血液内科学
2）津山中央病院内科

O13-075 個人輸入した Zidovudine の内服により薬剤性の重症貧血を来した一例

坂本洋平、吉村幸浩、立川夏夫

横浜市立市民病院感染症内科

O13-076 当院の HIV 感染者における MRSA による皮膚軟部組織感染症に関する後方視的検討

廣田和之[1]、上平朝子[1,2]、坪倉美由紀[2]、
田栗貴博[3]、山本雄大[1]、新井剛[1]、
湯川理己[1]、上地隆史[1]、伊熊素子[1]、
笠井大介[1]、渡邊大[1]、西田恭治[1]、
爲政大幾[4]、眞能正幸[3]、白阪琢磨[1]

1）国立病院機構　大阪医療センター　感染症内科
2）国立病院機構　大阪医療センター　感染制御部
3）国立病院機構　大阪医療センター　臨床検査科
4）国立病院機構　大阪医療センター　皮膚科

■日時：11 月 24 日（木） 9：15 ～ 10：45
■会場：G会場（大研修室 4）

14　社会：カウンセリング

座長　辻　麻理子
（国立病院機構九州医療センター　心理療法士室）

長浦由紀
（長崎大学病院）

O14-077 cART 確立以降の定期通院 HIV 患者における精神科受診率とその特徴

渡邊愛祈[1]、西島　健[1]、高橋卓巳[2]、
木村総太[1,3]、小松賢亮[1]、大金美和[1]、
池田和子[1]、照屋勝治[1]、塚田訓久[1]、
加藤　温[2]、関由賀子[2]、今井公文[2]、
菊池　嘉[1]、岡　慎一[1]

1）国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
2）国立国際医療研究センター病院精神科
3）公益財団法人エイズ予防財団

O14-078 東京都エイズ専門相談員制度実績から探る、クライエント属性と相談内容の変化

宮島謙介、神谷昌枝、内野ナンティヤー、
吉田容子、荒井アオイ、望月昌恵、
臼井久美子

東京都福祉保健局　健康安全部　感染症対策課
エイズ対策担当

O14-079 HIV 感染症患者のメンタルヘルス状況とパートナーの有無との相関関係についての検討

中川雄真、田邊嘉也、古谷野淳子、
藏田　裕、渡邉さゆり、川口　玲

新潟大学医歯学総合病院感染管理部

O14-080 医療不信を抱え受診中断を繰り返していた一事例―心理的介入と多職種の関わりがもたらした変化―

小松賢亮[1]、小山美紀[1]、増田純一[2]、
柴田　怜[1]、杉野祐子[1]、佐藤麻希[2]、
渡邊愛祈[1]、木村聡太[1,3]、潟永博之[1]、
菊池　嘉[1]、岡　慎一[1]

1）国立国際医療研究センター病院 エイズ治療研究・開発センター
2）国立国際医療研究センター病院 薬剤部
3）エイズ予防財団 リサーチレジデント

O14-081　中核拠点病院における HIV カウンセリングの実践と継承—HIV ベテランカウンセラーへのインタビュー分析を通して—

長浦由紀[1)]、高田知恵子[2)]、嶋　篤子[3)]、平塚信子[4)]、加藤朋子[5)]、高橋義博[6)]、山中京子[7)]

1）長崎大学病院
2）大妻女子大学
3）滋賀医科大学附属病院
4）滋賀県
5）公益財団法人松原病院
6）大館市立総合病院
7）大阪府立大学

O14-082　HIV 領域にて活動するカウンセラーのチーム医療に対する意識調査

中川雄真[1)]、小島賢一[2)]、小松賢亮[3,4)]、渡邊愛祈[3,4)]、石田陽子[5)]、松岡亜由子[6)]

1）新潟大学医歯学総合病院感染管理部
2）荻窪病院血液科
3）国立国際医療研究センター病院
4）エイズ予防財団
5）北海道大学病院
6）名古屋医療センターエイズ治療開発センター

■日時：11 月 24 日（木）　11：00 ～ 12：00
■会場：G会場（大研修室 4）

15　社会：疫学

座長　鎌倉光宏
（慶應義塾大学　健康マネジメント研究科）
日髙庸晴
（宝塚大学　看護学部）

O15-083　本邦における HIV 感染者・AIDS 発症者数の動向と ART の医療経済的解析

尾又一実、菊池　嘉、岡　慎一、満屋裕明

国立国際医療研究センター

O15-084　競合リスクモデルを利用した HIV 感染者の診断率の推定

西浦　博

北海道大学大学院医学研究科

O15-085　当院の HIV/AIDS 患者および入院時 HIV 検査陽性率から推測される、人口流出と高齢化がみられる地方都市における HIV/AIDS の疫学

坂部茂俊[1)]、小林鮎子[1)]、豊嶋弘一[1)]、小倉香里[2)]、森尾志保[2)]、服部公紀[3)]

1）日本赤十字社伊勢赤十字病院　感染症内科
2）日本赤十字社伊勢赤十字病院　看護部
3）日本赤十字社伊勢赤十字病　院薬剤部

O15-086　大阪市における HIV 合併肺結核の結核治療成績に関連する要因についての検討

松本健二[1)]、小向　潤[1)]、津田侑子[1)]、奥町彰礼[1)]、田中成一[1)]、岡田めぐみ[1)]、浅井千絵[1)]、植田英也[1)]、八木沙保里[1)]、竹川美穂[1)]、倉田哲也[1)]、宇田瑛子[1)]、冨森由紀恵[1)]、芦達麻衣子[1)]、齊藤和美[1)]、清水直子[1)]、細井舞子[2)]、真木景子[1)]、安井典子[1)]、青木理恵[1)]、廣川秀徹[1)]

1）大阪市保健所感染症対策課
2）大阪市健康局健康推進部健康づくり課

■日時：11 月 24 日（木）　14：45 ～ 16：15
■会場：G会場（大研修室 4）

16　社会：行動科学・意識調査

座長　岡本　学
（独立行政法人国立病院機構　大阪医療センター）
井上洋士
（放送大学）

O16-087　MSM 向け HIV/STI 検査における検査結果と関連付けたリスク行動調査

川畑拓也[1)]、小島洋子[1)]、森　治代[1)]、岩佐　厚[2)]、亀岡　博[3)]、菅野展史[4)]、近藤雅彦[5)]、杉本賢治[6)]、高田昌彦[7)]、田端運久[8)]、中村幸生[9)]、古林敬一[10)]、清田敦彦[11)]、伏谷加奈子[12)]、柴田敏之[13)]、木下　優[13)]、日高庸晴[14)]

1）大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課
2）岩佐クリニック
3）亀岡クリニック
4）菅野クリニック
5）近藤クリニック
6）京橋杉本クリニック
7）高田泌尿器科
8）田端医院
9）中村クリニック
10）そねざき古林診療所
11）清田クリニック
12）ふしたにクリニック
13）大阪府健康医療部医療対策課
14）宝塚大学看護学部

O16-088　20 代 30 代未婚女性のコンドーム使用状況と使用を妨げる認知との関連

渡邉さゆり[1)]、古谷野淳子[1)]、松高由佳[2)]、長野　香[3)]、桑野真澄[4)]、川口　玲[1)]、西川歩美[5,6)]、日高庸晴[7)]

1）新潟大学医歯学総合病院感染管理部
2）広島文教女子大学心理学科
3）特定非営利活動法人 SHIP
4）九州大学大学院医学系学府精神病態医学
5）（公財）エイズ予防財団リサーチ・レジデント
6）大阪医療センター臨床心理室
7）宝塚大学看護学部

O16-089　通院患者の老後の不安に関する調査

高山次代[1)]、浅田裕子[1)]、齋藤千鶴[2)]、小谷岳春[2)]、渡邉珠代[3)]

1）石川県立中央病院看護部
2）石川県立中央病院血液内科
3）石川県立中央病院免疫感染症科

■日時：11 月 25 日（金）　10：45 ～ 11：45
■会場：B会場（大ホールA）

17　臨床：悪性腫瘍 2・生活習慣病 2

座長　遠藤知之
（北海道大学病院　血液内科）

田邊嘉也
（新潟大学医歯学総合病院　感染管理部）

O17-090　術前スクリーニング検査により HIV 感染が判明し診断に至った Plasmablastic lymphoma の 1 例

筑丸　寛[1]、上田敦久[2]、宮崎拓也[2]、寒川　整、松山奈央[4]、竹林早苗[4]、高橋杏奈[3]、山中正二[3]、大橋健一[3]、中島秀明[2]、藤内　祝[1]

1）横浜市立大学大学院医学研究科顎顔面口腔機能制御学
2）横浜市立大学大学院医学研究科幹細胞免疫制御内科学
3）横浜市立大学附属病院病理診断科・病理部
4）横浜市立大学附属病院看護部

O17-091　非 AIDS 指標悪性腫瘍の臨床的検討

味澤　篤[1,2)]、菅沼明彦[3)]、松原昌平[2)]、河内宣之[2)]、田形愛美[2)]、池内和彦[2)]、福島一彰[2)]、田中　勝[2)]、佐々木秀悟[2)]、関谷綾子[2)]、関谷紀貴[4)]、矢嶋敬四郎[2)]、柳澤如樹[2)]、今村顕史[2)]

1）東京都保健医療公社豊島病院感染症科
2）がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
3）杏林病院
4）がん・感染症センター都立駒込病院臨床微生物科

O17-092　当院における HIV 感染症に合併した造血器腫瘍の 4 例

小谷岳春[1)]、斎藤千鶴[1)]、渡邉珠代[2)]

1）石川県立中央病院血液内科
2）石川県立中央病院免疫感染症科

O17-093　脂質異常症の改善を目的としたドルテグラビルを含む抗ウイルス療法の有効性に関する検討

平野　淳[1)]、加藤万理[1)]、福島直子[1)]、戸上博昭[1)]、小暮あゆみ[2)]、中畑征史[2)]、今村淳治[3)]、蜂谷敦子[4)]、岩谷靖雅[4)]、松本修一[1)]、横幕能行[3)]

1）国立病院機構　名古屋医療センター　薬剤部
2）国立病院機構　名古屋医療センター　感染症科
3）国立病院機構　名古屋医療センター　エイズ治療開発センター
4）国立病院機構　名古屋医療センター　臨床研究センター　感染免疫研究部

O17-094　HIV 感染者における Circulating Cell-Free Mitochondrial DNA 測定の意義

南　留美[1)]、高濱宗一郎[1)]、古賀康雅[1)]、小松真梨子[1)]、山地由恵[2)]、犬丸真司[2)]、長與由紀子[2)]、城崎真弓[2)]、山本政弘[1)]

1）国立病院機構　九州医療センター　免疫感染症内科
2）国立病院機構　九州医療センター　看護部

■日時：11 月 25 日（金）　10：45 ～ 11：45
■会場：C会場（中ホール）

18　臨床：副作用

座長　上平朝子
（独立行政法人国立病院機構　大阪医療センター　感染症内科）

吉野宗宏
（独立行政法人国立病院機構　大阪南医療センター　薬剤部）

O18-095　ドルテグラビル服用患者における肝障害の検討

増田純一[1)]、赤沢　翼[1)]、押賀充則[1)]、早川史織[1)]、佐藤麻希[1)]、水島大輔[2)]、西島　健[2)]、青木孝弘[2)]、木内　英[2)]、照屋勝治[2)]、潟永博之[2)]、塚田訓久[2)]、桑原　健[1)]、菊池　嘉[2)]、岡　慎一[2)]

1）国立国際医療研究センター病院薬剤部
2）国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

O18-096 インテグラーゼ阻害剤服用中の患者における、精神神経系副作用の発現状況についての調査およびリスク因子についての検討

森本清香[1,2]、大石裕樹[1,2]、古賀康雅[2,3]、高濱宗一郎[2,3]、南　留美[2,3]、西野　隆[1]、山本政弘[2,3]

1）九州医療センター薬剤部
2）九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター
3）九州医療センター免疫感染症科

O18-097 コビシスタット、ドルテグラビルに関連する血清クレアチニン上昇の特徴

大石裕樹[1]、森本清香[1]、古賀康雅[2]、高濱宗一郎[2]、南　留美[2]、西野　隆[1]、山本政弘[2]

1）国立病院機構九州医療センター薬剤部
2）国立病院機構九州医療センター免疫感染症科

O18-098 Dolutegravir の投与により推算糸球体濾過量が想定外の減少を示した症例

森　尚義[1]、中道翔子[1]、谷口晴記[2]

1）三重県立総合医療センター薬剤部
2）三重県立総合医療センター産婦人科

O18-099 当院における Dolutegravir 中止例についての検討

上平朝子[1]、矢倉裕輝[2]、渡邊　大[3]、冨島公介[2]、中内崇夫[2]、新井　剛[1]、山本雄大[1]、湯川理己[1]、廣田和之[1]、伊熊素子[1]、上地隆史[1]、笠井大介[1]、西田恭治[1]、白阪琢磨[1]

1）独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター　感染症内科
2）独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター　薬剤部
3）独立行政法人国立病院機構 臨床研究センター　エイズ先端医療研究部

■日時：11 月 25 日（金） 9：00 ～ 10：30
■会場：D会場（大研修室 1）

19　臨床：服薬アドヒアランス

座長　渡邊　大
（独立行政法人国立病院機構　大阪医療センター　感染症内科
HIV 感染制御研究室）

矢倉裕輝
（独立行政法人国立病院機構　大阪医療センター　薬剤部）

O19-100 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査－抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査（2016 年）

小島賢一[1]、日笠　聡[2]、桑原　健[3]、関根祐介[4]

1）荻窪病院血液科
2）兵庫医科大学血液内科
3）国立国際医療研究センター 薬剤部
4）東京医科大学病院　薬剤部

O19-101 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査－治療開始時の抗 HIV 薬処方動向調査（2016 年）

日笠　聡[1]、関根祐介[2]、桑原　健[3]、小島賢一[4]

1）兵庫医科大学　血液内科
2）東京医科大学病院　薬剤部
3）国立国際医療研究センター　薬剤部
4）荻窪病院　血液科

O19-102 駒込病院 HIV/AIDS 薬剤師連絡会の報告

朽木絵美[1]、佐野俊彦[1]、関矢早苗[2]、今村顕史[3]

1）がん・感染症センター都立駒込病院薬剤科
2）がん・感染症センター都立駒込病院看護部
3）がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

O19-103 アドヒアランス維持を目的としたチーム医療におけるカウンセラーの役割～入院中の ART 導入から外来への移行期における心理支援～

阪木淳子[1,2]、辻　麻理子[1,2]、首藤美奈子[2]、山地由恵[2]、犬丸真司[2]、長與由紀子[2]、城崎真弓[2]、古賀康雅[2]、南　留美[2]、竹尾貞徳[3]、山本政弘[2]

1）NHO 九州医療センター心理療法士室・臨床研究センター
2）NHO 九州医療センター AIDS/HIV 臨床研究センター
3）NHO 九州医療センター統括診療部・臨床研究センター

O19-104 ラルテグラビル 1 日 1 回レジメンの有用性に関する考察

藤井輝久[1)]、齊藤誠司[1)]、山崎尚也[1)]、池田有里[2)]、小川良子[2)]、木下一枝[2)]、藤井健司[3)]、藤田啓子[3)]、畝井浩子[3)]、高田　昇[4)]

1）広島大学病院輸血部
2）広島大学病院看護部
3）広島大学病院薬剤部
4）中電病院臨床検査科

O19-105 HIV 感染症患者の喫煙と服薬管理状況調査

小本健博[1)]、吉江友理子[1)]、谷澤直樹[2)]、初鹿妙子[2)]、渡邉玲一[2)]、吉場雅一朗[2)]

1）ココカラファイン薬局曙橋店
2）(株)ココカラファインヘルスケア調剤事業部

■日時：11 月 24 日（木） 10：45 ～ 11：45
■会場：D会場（大研修室 1）

20　臨床：針刺し事故・その他

座長　伊藤俊広
（独立行政法人国立病院機構　仙台医療センター　感染症内科）
菊池　嘉
（国立国際医療研究センター　エイズ治療・研究開発センター）

O20-106 一般市民の病院外 HIV 汚染事故の２事例

高橋義博

大館市立総合病院　感染制御室

O20-107 当センターにおける非職業曝露後予防内服の施行状況

塚田訓久、上村　悠、柳川泰昭、柴田　怜、小林泰一郎、西島　健、水島大輔、木内　英、青木孝弘、矢崎博久、西城淳美、照屋勝治、潟永博之、菊池　嘉、岡　慎一

国立国際医療研究センター　エイズ治療・研究開発センター

O20-108 当院医療従事者における HIV 陽性血液・体液曝露後の対応に関する検討

笠井大介、新井　剛、山本雄大、湯川理己、廣田和之、上地隆史、伊熊素子、渡邊　大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科

O20-109 当院の HIV 感染者における急性感染期での診断と診断前の受検行動に関する後方視的検討

渡邊　大[1)]、上平朝子[2)]、下司有加[3)]、蘆田美紗[1)]、鈴木佐知子[1)]、松本絵梨奈[1)]、新井　剛[2)]、山本雄大[2)]、湯川理己[2)]、廣田和之[2)]、上地隆史[2)]、伊熊素子[2)]、笠井大介[2)]、西田恭治[2)]、白阪琢磨[1,2)]

1）独立行政法人国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部
2）独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科
3）独立行政法人国立病院機構大阪医療センター看護部

O20-110 HIV 感染男性同性愛者における梅毒発症率とリスク因子の検討

西島　健、安藤尚克、橋本武博、篠原　浩、上村　悠、柳川泰昭、小林泰一郎、水島大輔、青木孝弘、木内　英、塚田訓久、照屋勝治、潟永博之、菊池　嘉、岡　慎一

国立国際医療研究センター　エイズ治療・研究開発センター

■日時：11 月 25 日（金） 9：00 ～ 10：30
■会場：E会場（大研修室 2）

21　基礎：宿主因子

座長　白川康太郎
（京都大学大学院医学研究科　血液・腫瘍内科）
中山英美
（大阪大学　微生物病研究所）

O21-111 APOBEC3H の HIV-1 Vif 結合領域の構造学的研究

粟津宏昭[1)]、中島雅晶[1,2)]、大出裕高[1)]、濱野章子[1)]、都築伸弥[1,2)]、前島雅美[1)]、岡田彩加[1)]、蜂谷敦子[1)]、横幕能行[1)]、明里宏文[3,4)]、渡邉信久[2,5)]、岩谷靖雅[1,6)]

1）名古屋医療センター　臨床研究センター　感染・免疫研究部
2）名古屋大学大学院工学研究科
3）京都大学　霊長類研究所
4）京都大学　ウイルス研究所
5）名古屋大学　シンクロトロン光研究センター
6）名古屋大学大学院医学系研究科

O21-112 APOBEC3G の N 末端ドメインの構造的洞察による、RNA 結合に重要なアミノ酸残基の同定

福田寛文[1)]、Daniela Sarca[1)]、山下和男[2)]、Songling Li[2,3)]、Daron Standley[2,3)]、白川康太郎[1)]、高折晃史[1)]、泉　泰輔[1)]

1）京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科
2）大阪大学免疫学フロンティア研究センター　免疫システム学
3）京都大学ウイルス研究所　高次生体情報研究分野

O21-113 PPP2R5D は Vif ユビキチンリガーゼの基質であり、Vif の誘導する細胞周期停止に関わっている

永田佳代子、新堂啓祐、松井佑亮、白川康太郎、高折晃史

京都大学大学院医学研究科　血液・腫瘍内科

O21-114 HIV-1 CRF01_AE　に見られる Mx2 耐性を付与するカプシド 変異

中山英美[1)]、Sultana Tahmina[1)]、Jin Zhuan[1)]、野畑享太郎[1)]、柴田真人[1)]、細井美帆[1)]、本村和嗣[2)]、塩田達雄[1)]、Sangkitporn Somchai[3)]、Loket Ruangchai[3)]、Seang-aroon Siriphan[3)]

1）大阪大学　微生物病研究所
2）日本タイ振興再興感染症共同研究センター
3）タイ王国国立衛生研究所

O21-115 CD4+T 細胞の分化に対する HIV 感染と miR125b の影響の検討

郭　悠[1)]、南　留美[2)]、小松真梨子[2)]、高濱宗一郎[2)]、高濱正吉[1)]、桑田岳夫[1)]、山本政弘[2)]、松下修三[1)]

1）熊本大学エイズ研究センター　松下プロジェクト研究室
2）九州医療センター
3）免疫感染症科

O21-116 抗 HIV 活性を持つヘテロ環化合物 BMMP の作用機序解明

加茂真宏[1)]、立石　大[1)]、山本充奈美[1)]、岡本良成[1)]、森川裕子[2)]、三隅将吾[3)]、大塚雅巳[1)]、藤田美歌子[4)]

1）熊本大学生命科学研究部生体機能分子合成学
2）北里大学大学院感染制御科学府
3）熊本大学生命科学研究部環境分子保健学
4）熊本大学薬学部附属創薬研究センター

O21-117 HIV-1 カプシドタンパク質と相互作用を有する新規宿主因子の探索

山田芽衣[1]、岸本直樹[2]、高宗暢暁[3]、三隅将吾[2)]

1）熊大院・薬・環境分子保健学
2）熊大院・生科・環境分子保健学
3）熊大 KICO

■日時：11 月 24 日（木）　10：45 ～ 11：45
■会場：E 会場（大研修室 2）

22　基礎：潜伏感染

座長　高折晃史
（京都大学　血液・腫瘍内科学）

石坂　彩
（（公財）微生物化学研究会微生物化学研究所（微化研））

O22-118 Cell associated HIV RNA (Short Transcripts) と T 細胞活性化との関連

石坂　彩[1)]、佐藤秀憲[2,3)]、中村仁美[4)]、古賀道子[4)]、鯉渕智彦[4)]、立川（川名）愛[3)]、水谷壮利[1)]

1）（公財）微生物化学研究会微生物化学研究所（微化研）
2）防衛医科大学校医学教育部医学科内科学講座
3）国立感染症研究所エイズ研究センター
4）東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

O22-119 ケミカルバイオロジーを用いた HIV 再活性化のメカニズム解析

岩瀬早織[1)]、宮川　敬[2)]、工藤あゆみ[2)]、梁　明秀[2)]

1）横浜市立大学国際総合科学部
2）横浜市立大学医学部微生物学

O22-120 蛍光 HIV 潜伏感染モデル細胞を用いた活性化誘導と抗 HIV 薬活性の評価

志村和也、松岡雅雄

京都大学ウイルス研究所

O22-121 HIV-1 潜伏感染細胞を標的とする MazF 発現レトロウイルスベクターを用いた遺伝子治療に関する研究

岡本実佳[1)]、蝶野英人[2)]、日高朱美[1)]、外山政明[1)]、峰野純一[2)]、馬場昌範[1)]

1）鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　附属難治ウイルス病態制御研究センター
2）タカラバイオ株式会社　CDM センター

O1-122　リンパ腫合併症例に対する自家末梢血幹細胞移植の HIV-1 プロウイルス量および潜伏感染リザーバーサイズへの影響

吉永則良、白川康太郎、福田寛文、
新堂啓祐、小林正行、高折晃史

京都大学大学院医学研究科　血液・腫瘍内科

■日時：11 月 25 日（金） 9：00 ～ 10：30
■会場：F 会場（大研修室 3）

23　社会：政策 2

座長　横幕能行
（国立病院機構　名古屋医療センターエイズ治療開発センター）

根岸昌功
（ねぎし内科診療所）

O23-123　横浜市立市民病院における HIV 感染者障害者認定の現状

宮林優子、寺澤美穂、立川夏夫、吉村幸浩

横浜市立市民病院

O23-124　エイズ拠点病院の役割に関する課題～更生医療の制度上の問題点について～

矢島悟子[1)]、小池順子[1)]、金澤靖子[1)]、
関澤真人[1)]、葛西俊二[1)]、村上善昭[1)]、
外島正樹[2)]

1）芳賀赤十字病院
2）自治医科大学付属病院

O23-125　高齢 HIV 感染症患者の実情と多剤併用

森　尚義[1)]、大井一弥[2)]、谷口晴記[3)]

1）三重県立総合医療センター薬剤部
2）鈴鹿医療科学大学大学院薬学研究科臨床薬理学研究室
3）三重県立総合医療センター産婦人科

O23-126　外来受診中 HIV 陽性者の他院受診状況に関する質問紙調査

竹花　惇[1)]、岡本　学[2)]、下司有加[3)]、
中濱智子[3)]、東　政美[3)]、鈴木成子[3)]、
上平朝子[4)]、白阪琢磨[5)]

1）エイズ予防財団リサーチ・レジデント
2）大阪医療センター医療相談室
3）大阪医療センター看護部
4）大阪医療センター感染症内科
5）大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

O23-127　診療所における HIV 感染症診療の試み - 第 9 報

根岸昌功、荒井祐貴子、織田幸子、西岡春菜

ねぎし内科診療所

O23-128　HIV 検査相談研修会実施が地域連携にもたらした効果

飯田昌子[1)]、小山徹平[2)]、今村葉子[3)]、
屋地慶子[4)]、古川良尚[5)]

1）鹿児島大学法文教育学域
2）鹿児島大学病院臨床心理室
3）特定非営利活動法人 Rin かごしま
4）鹿児島大学病院薬剤部
5）鹿児島大学病院輸血・細胞治療部

■日時：11 月 25 日（金） 10：45 ～ 11：45
■会場：F 会場（大研修室 3）

24　社会：検査 2

座長　川畑拓也
（大阪府立公衆衛生研究所　感染症部ウイルス課）

加藤真吾
（慶應義塾大学医学部　微生物学・免疫学教室）

O24-129　乾燥濾紙血を用いた HIV-1 RNA 検出法

丸山理恵[1)]、須藤弘二[1)]、藤原　宏[2)]、
長谷川直樹[2)]、加藤真吾[1)]

1）慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
2）慶應義塾大学病院感染制御センター

O24-130　国内における HIV-2 感染疑義症例に関する精査解析

前島雅美[1)]、伊部史朗[1,2)]、根本理子[1,3)]、
今橋真弓[1,4)]、今村淳治[1)]、蜂谷敦子[1)]、
松田昌和[1)]、重見　麗[1)]、岡崎玲子[1)]、
杉浦　亙[1,5)]、横幕能行[1)]、岩谷靖雅[1,6)]

1）名古屋医療センター 臨床研究センター
　感染・免疫研究部
2）北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所
3）岡山大学大学院環境生命科学研究科
4）テキサス大学ヒューストンヘルスサイエンスセンター
　公衆衛生大学院
5）グラクソ・スミスクライン株式会社
6）名古屋大学大学院医学系研究科

O24-131 IC 法を利用した新しい HIV 抗原抗体迅速検査試薬の急性感染期検体を用いた評価

川畑拓也[1)]、長島真美[2)]、小島洋子[1)]、
森　治代[1)]、貞升健志[2)]、駒野　淳[3)]

1）大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課
2）東京都健康安全研究センター微生物部
3）国立病院機構名古屋医療センター

O24-132 HIV 検査受検勧奨のための自治体と連携した検査モデルの構築

今村顕史[1)]、堅多敦子[2)]

1）がん・感染症センター 都立駒込病院感染症科
2）東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課

O24-133 「病院に HIV 検査実施ガイドライン」作成と評価分析について

矢永由里子[1)]、今村顕史[2)]、井戸田一朗[3)]、
加藤真吾[4)]

1）慶應義塾大学医学部感染制御センター
2）がん・感染症センター都立駒込病院
3）しらかば診療所
4）慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

■日時：11 月 25 日（金） 10：30 ～ 11：45
■会場：G会場（大研修室 4）

25 社会：陽性者支援・ソーシャルワーク

座長 牧園祐也
（Love Act Fukuoka）
首藤美奈子
（国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター）

O25-134 外国人 HIV 感染者療養支援 - 院外機関との連携について -

木下真里、谷口　紅、杉野祐子、大金美和、
池田和子、阿部直美、菊池　嘉、岡　慎一

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
エイズ治療研究・開発センター

O25-135 エイズ診療地域連携を目指した研修会の評価～アンケート調査による研修会有用性の検討～

石川朋子[1)]、石井幹夫[1)]、小野恵子[1)]、
末盛浩一郎[2)]、坂本早輝[3)]、滝本麻衣[3)]、
若松　綾[3)]、乗松真大[4)]、木村博史[4)]、
井門敬子[4)]、高田清式[5)]

1）愛媛大学医学部附属病院　総合診療サポートセンター
2）愛媛大学医学部附属病院　第一内科
3）愛媛大学医学部附属病院　看護部
4）愛媛大学医学部附属病院　薬剤部
5）愛媛大学医学部附属病院　臨床研修センター

O25-136 北里大学病院における HIV/AIDS 患者の周囲への告知支援の検討

加藤　笑[1)]、齊藤聡子[1)]、松山晃代[1)]、
前田景子[2)]、和田達彦[3)]、高山陽子[4)]

1）北里大学病院　看護部
2）北里大学病院　トータルサポートセンター
3）北里大学病院医学部　膠原病・感染内科
4）北里大学病院医学部附属紀医療開発センター
　横断的医療領域開発部門　感染制御学

O25-137 介護や医療、福祉関係者向け小冊子の作成と、シンポジウム実施の報告

永易至文

特定非営利活動法人パープル・ハンズ

O25-138 ぷれいす東京における HIV 陽性者ボランティアの参加状況に関する考察

加藤力也、佐藤郁夫、牧原信也、福原寿弥、
大槻知子、池上千寿子、生島　嗣

特定非営利活動法人　ぷれいす東京

O25-139 身体に障害をもつ HIV 陽性者とバディの関わりの一例報告

牧原信也、生島　嗣、福原寿弥

特定非営利活動法人　ぷれいす東京

■日時：11 月 26 日（土） 10：30 ～ 11：45
■会場：C会場（中ホール）

26 臨床：看護

座長 田中美佐子
（産業医科大学病院 看護部）

佐野麻里子
（杏林大学医学部付属病院 外来看護部）

O26-140 受診中断経験のある HIV 患者の受診行動にまつわる思い

渡部恵子[1)]、武内阿味[2)]、大野稔子[1)]、
成田月子[1)]、本田秀子[1)]、進藤ゆかり[3)]

1）北海道大学病院 看護部
2）北海道大学大学院医学研究科
3）北海道大学大学院保健学科

O26-141 HIV 感染症における受診中断歴のある死亡症例の検討

羽柴知恵子[1)]、伊藤杏奈[1)]、石原真理[2)]、
今村淳治[2)]、蜂谷敦子[3)]、岩谷靖雅[3)]、
横幕能行[2)]

1）独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 看護部
2）独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター エイズ治療開発センター
3）独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 感染・免疫研究部

O26-142 AIDS 関連悪性リンパ腫で臍帯血移植を行った一症例について振り返る—HIV 看護の視点から—

宮林優子

横浜市立市民病院

O26-143 当院ＨＩＶ感染患者口腔ケアの現状

河村雅江[1)]、結城美重[3)]、宇都宮淑子[1)]、
原田耕志[2)]、清水香織[2)]、高砂真明[3)]、
渡邊正規[4)]、藤井康彦[5)]、湯尻俊昭[5)]、
谷澤幸生[5)]

1）山口大学医学部附属病院 看護部
2）同 歯科口腔外科
3）同 診療連携室
4）同 薬剤部
5）同 第３内科

O26-144 熊本地震後の患者対応と今後の課題

高木雅敏[1)]、井原国代[1)]、鏡堂智子[1)]、
田上直美[2)]、中田浩智[3)]、宮川寿一[3)]、
松下修三[4)]、松岡雅雄[3)]

1）熊本大学医学部附属病院 看護部
2）熊本大学医学部附属病院 薬剤部
3）熊本大学医学部附属病院 血液内科・感染免疫診療部
4）熊本大学エイズ学研究センター

O26-145 高齢期に AIDS 発症した夫と在宅療養生活を維持している妻の関係性 -AIDS 発症前後における夫と妻のそれぞれの思いの分析から -

高尾千賀子

宮崎県立看護大学看護学部

■日時：11 月 26 日（土） 10：45 ～ 11：45
■会場：D会場（大研修室 1）

27 臨床：臨床薬理

座長 日笠真一
（兵庫医科大学病院 薬剤部）

大石裕樹
（国立病院機構九州医療センター 薬剤部）

O27-146 A Phase I, Open-label, Single-dose Study Investigating the PK of ABC/DTG/3TC FDC tablet in Healthy Japanese Subjects (204662 , ClinicalTrials.gov: NCT02539576)

Miura Toshiyuki[1)]、
Wolstenholme Alllen[2)]、
Singh Rajendra[2)]、Lou Yu[3)]、
Dumont Etienne[2)]、Wynne Brian[1)]、
Hopking Judy[2)]、Day Lorrie[2)]

1）ViiV Healthcare
2）GlaxoSmithKline
3）PAREXEL International

O27-147 HIV 患者におけるドルテグラビル血中濃度と薬物トランスポータの遺伝子多型についての検討

土屋亮人[1)]、林田庸総[1)]、濱田哲暢[2,3)]、
菊池 嘉[1)]、岡 慎一[1,4)]、潟永博之[1,4)]

1）国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター
2）国立がん研究センター研究所 臨床薬理研究分野
3）熊本大学大学院医学教育部 腫瘍治療・トランスレーショナルリサーチ学分野
4）熊本大学エイズ学研究センター

O27-148 UGT1A1 遺伝子多型のドルテグラビル血中濃度に及ぼす影響に関する研究

戸上博昭[1)]、矢倉裕輝[2)]、平野　淳[1)]、高橋昌明[3)]、吉野宗宏[4)]、阿部憲介[5)]、神尾咲留未[5)]、大石裕樹[6)]、竹松茂樹[7)]、垣越咲穂[8)]、山本有紀[9)]、伊藤俊広[5)]、山本政弘[6)]、水守康之[9)]、金井　修[7)]、内海　眞[8)]、渡邊　大[2)]、横幕能行[1)]、白阪琢磨[2)]

1）国立病院機構名古屋医療センター
2）国立病院機構大阪医療センター
3）国立病院機構鈴鹿病院
4）国立病院機構大阪南医療センター
5）国立病院機構仙台医療センター
6）国立病院機構九州医療センター
7）国立病院機構京都医療センター
8）国立病院機構東名古屋病院
9）国立病院機構姫路医療センター

O27-149 フェノバルビタールの用量変更によりDTG の血中濃度が変動した症例

日笠真一[1)]、澤田暁宏[2)]、清野仁美[3)]、秀田恭子[1)]、庄司雅基[1)]、川上麻衣[1)]、日笠　聡[2)]、徳川多津子[2)]、木村　健[1)]

1）兵庫医科大学病院薬剤部
2）兵庫医科大学血液内科
3）兵庫医科大学精神科神経科

O27-150 ドルテグラビルの錠剤と簡易懸濁法による投与時の血中濃度比較

冨島公介[1)]、中内崇夫[1)]、矢倉裕輝[1)]、伊熊素子[2)]、渡邊　大[2)]、上平朝子[2)]、白阪琢磨[2)]

1）国立病院機構大阪医療センター薬剤部
2）国立病院機構大阪医療センター感染症内科

■日時：11 月 26 日（土） 13：15 ～ 14：45
■会場：D会場（大研修室 1）

28 臨床：母子感染・歯科

座長 喜多恒和
（奈良県総合医療センター　周産期母子医療センター兼産婦人科）
宇佐美雄司
（国立病院機構　名古屋医療センター　歯科口腔外科）

O28-151 HIV 感染妊婦における分娩様式に関する検討

杉浦敦[1,2)]、市田宏司[2)]、中西美紗緒[2)]、箕浦茂樹[2)]、松田秀雄[2)]、高野政志[2)]、桃原祥人[2)]、小林裕幸[2)]、佐久本　薫[2)]、太田　寛[2)]、石橋理子[2)]、藤田　綾[2)]、高橋尚子[2)]、吉野直人[2)]、田中瑞恵[2)]、外川正生[2)]、喜多恒和[1,2)]

1）奈良県総合医療センター
2）厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染妊娠に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」班

O28-152 血友病患者の歯科医療に関する全国調査

宇佐美雄司[1)]、横幕能行[2)]

1）国立病院機構　名古屋医療センター　歯科口腔外科
2）国立病院機構　名古屋医療センター　感染症科

O28-153 当院の HIV 感染者における歯科治療と病診連携に関する調査

佐藤恵美[1,3)]、中川裕美子[1)]、黒川　仁[2)]、丸岡　豊[2,4)]、大金美和[1)]、池田和子[1)]、菊池　嘉[1)]、岡　慎一[1)]

1）国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
2）国立国際医療研究センター歯科・口腔外科
3）公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント
4）東京医科歯科大学大学院顎口腔外科学分野

O28-154 兵庫医科大学病院における HIV 患者の歯科受療実態アンケート調査

河田尚子[1)]、日笠真一[2)]、佐野沙織[1)]、日笠　聡[3)]、澤田暁宏[3)]、徳川多津子[3)]、岸本裕充[1)]

1）兵庫医科大学病院　歯科口腔外科
2）兵庫医科大学病院　薬剤部
3）兵庫医科大学病院　血液内科

O28-155　口腔に多発したカポジ肉腫の 1 例へのオーラルマネジメント

佐野沙織[1)]、野口一馬[1)]、藤原正識[1)]、河田尚子[1)]、徳川多津子[2)]、澤田暁宏[2)]、日笠　聡[2)]、岸本裕充[1)]

1）兵庫医科大学病院歯科口腔外科
2）兵庫医科大学病院血液内科

■日時：11 月 26 日（土）　9：00 ～ 10：30
■会場：E 会場（大研修室 2）

29　基礎：分子疫学

座長　景山誠二
（鳥取大学　医学部ウイルス学分野）

松岡佐織
（国立感染症研究所エイズ研究センター）

O29-156　日本国内の HIV 感染者数の推定

松岡佐織[1)]、長島真美[2)]、森　治代[3)]、川畑拓也[3)]、貞升健志[2)]

1）国立感染症研究所エイズ研究センター
2）東京都健康安全研究センター微生物部
3）大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課

O29-157　東海地方における HIV-1 の分子疫学的解析

松田昌和[1)]、椎野禎一郎[2)]、重見　麗[1)]、岡崎玲子[1)]、吉村和久[3)]、蜂谷敦子[1,4)]、今村淳治[1)]、横幕能行[1)]、岩谷靖雅[1,5)]

1）(独)国立病院機構　名古屋医療センター　臨床研究センター　感染・免疫研究部
2）国立感染症研究所　感染症疫学センター
3）国立感染症研究所　エイズ研究センター
4）(独)国立病院機構　名古屋医療センター　臨床研究センター　臨床研究事業部
5）名古屋大学大学院医学系研究科

O29-158　新型変異 HIV-1 の急速な病期進行と関連する病原体と宿主因子に関する解析

森　治代[1)]、小島洋子[1)]、川畑拓也[1)]、中山英美[2)]、塩田達雄[2)]、藤野真之[3)]、引地優太[3)]、俣野哲朗[3)]、村上　努[3)]、渡邊　大[4)]、松浦基夫[5)]、宇野健司[6)]、古西　満[6)]、駒野　淳[7)]

1）大阪府立公衆衛生研究所ウイルス課
2）大阪大学微生物病研究所
3）国立感染症研究所エイズ研究センター
4）国立病院機構大阪医療センター
5）堺市立総合医療センター
6）奈良県立医科大学
7）国立病院機構名古屋医療センター

O29-159　国内 MSM におけるエイズ患者は伝播ネットワークのどこに多く含まれるか？

椎野禎一郎[1)]、蜂谷敦子[2)]、潟永博之[3)]、吉田　繁[4)]、近藤真規子[5)]、貞升健志[6)]、横幕能行[2)]、古賀道子[7)]、田邊嘉也[8)]、渡邉　大[9)]、森　治代[10)]、南　留美[11)]、健山正男[12)]、杉浦　亙[13)]、吉村和久[1)]

1）国立感染症研究所
2）国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター
3）国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
4）北海道大学
5）神奈川県衛生研究所
6）東京都健康安全研究センター
7）東京大学医科学研究所
8）新潟大学医歯学総合病院
9）(独)大阪医療センター
10）大阪府立公衆衛生研究所
11）(独)九州医療センター
12）琉球大学
13）グラクソスミスクライン株式会社

O29-160　中国の MSM 間で大流行している HIV-1 CRF01_AE variant の日本国内への拡散

近藤真規子[1)]、佐野貴子[1)]、吉村幸浩[2)]、立川夏夫[2)]、岩室紳也[3)]、井戸田一朗[4)]、山中　晃[5)]、武部　豊[6)]、今井光信[7)]、加藤真吾[8)]

1）神奈川県衛生研究所微生物部
2）横浜市立市民病院
3）厚木市立病院
4）しらかば診療所
5）新宿東口クリニック
6）国立感染症研究所
7）田園調布学園大学
8）慶應義塾大学医学部

O29-161　モンゴルにおける HIV-1 の分子疫学的研究

林田庸総[1)]、金山奈緒美[1)]、Setsen Zayasaikhan[2)]、Davaalkham Jagdagsuren[2)]、土屋亮人[1)]、高野　操[1)]、潟永博之[1,3)]、岡　慎一[1,3)]

1）国立国際医療研究センター　エイズ治療・研究開発センター
2）HIV/AIDS/STI Surveillance and Research Department, National Center for Communicable Diseases, Mongolia
3）熊本大学　エイズ学研究センター

O29-162 コンゴ民主共和国西部バ・コンゴ州における初の HIV 分子疫学調査

井戸栄治[1)]、Ahuka Steve[2,3)]、Karhemere Stomy[2)]、Sumbu Keya[4)]、伊吹謙太郎[5)]、Muyembe Jean-Jacques[2,3)]

1）東京医科歯科大学　大学院医歯学総合研究科
2）National Institute of Biomedical Research, DR Congo
3）University of Kinshasa, DR Congo
4）Boma General Hospital, DR Congo
5）京都大学　大学院医学系研究科

■日時：11 月 26 日（土）　10：45 ～ 11：45
■会場：E 会場（大研修室 2）

30　基礎：新薬開発と薬剤耐性

座長　岡本実佳
（鹿児島大学　大学院医歯学総合研究科）

前田賢次
（国立国際医療研究センター研究所）

O30-163 逆転写酵素阻害剤 EFdA（MK-8591）に対する薬剤耐性機序の構造学的解析と耐性株に有効な新規薬剤の設計・開発

前田賢次[1)]、高松悠樹[2)]、向後　悟[1,3)]、服部真一朗[1)]、鍬田伸好[1)]、林　宏典[1)]、Debananda Das[2)]、満屋裕明[1,2,4)]

1）国立国際医療研究センター研究所
2）National Cancer Institute・NIH
3）崇城大学・薬学部
4）熊本大学・総合臨床研究部

O30-164 極めて強力な抗 HIV 活性を有する新規 HIV-1 プロテアーゼ阻害剤、KU-241

服部真一朗[1)]、青木　学[2,3)]、鍬田伸好[1)]、林　宏典[1)]、青木宏美[2)]、Arun K Ghosh[4)]、前田賢次[1)]、満屋裕明[1,2)]

1）国立国際医療研究センター研究所
難治性ウイルス感染症研究部
2）National Cancer Institute, National Institute of Health
3）熊本保健科学大学 医学検査学科
4）Department of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue University

O30-165 DRV 耐性株を含む種々の多剤耐性変異株にも有効な新規抗 HIV 薬候補化合物 KU-241 の体内動態・脳組織内濃度・2 週間反復投与毒性

鍬田伸好[1)]、青木　学[2,3,4)]、服部真一朗[1)]、青木宏美[2,3)]、林　宏典[1,2,3)]、前田賢次[1)]、Arun K.Ghosh[5)]、満屋裕明[1,2,3)]

5）国立国際医療研究センター研究所・難治性ウイルス感染症研究部
6）National Cancer Institute, National Institute of Health
7）熊本大学総合臨床研究部・研究展開センター
8）熊本保健科学大学・医学検査学科
9）Department of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue University

O30-166 網羅的 Env 標的阻害剤ライブラリーの構築 -1

原田恵嘉[1)]、野村　渉[2)]、鳴海哲夫[3)]、横山　勝[4)]、前田賢次[5)]、林　宏典[5)]、荻原香澄[3)]、石田有佑[2)]、引地優太[1)]、佐藤裕徳[4)]、玉村啓和[2)]、俣野哲朗[1)]、吉村和久[1)]

1）国立感染症研究所エイズ研究センター
2）東京医科歯科大学生体材料工学研究所生体機能分子研究部門
3）静岡大学大学院総合科学技術研究科工学専攻
4）国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター
5）国立国際医療研究センター研究所難治性ウイルス感染症研究部

O30-167 抗 HIV 薬耐性ウイルスの出現時における２アミノ酸変異ウイルスの出現様式の解析

佐藤彰彦[1)]、三木　茂[1)]、吉永智一[1)]、藤原民雄[2)]

1）塩野義製薬 創薬疾患研究所
2）塩野義製薬 グローバル医薬開発本部

■日時：11月26日（土） 9：00～10：30
■会場：F会場（大研修室3）

31 社会：薬害

座長 池田和子
（国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター）

藤原良次
（特定非営利活動法人りょうちゃんず）

O31-168 HIV感染血液凝固異常症における慢性腎臓病（CKD）と骨粗しょう症の状況について

立浪 忍[1)]、三間屋純一[2)]、白幡 聡[3)]、天野景裕[4)]、大平勝美[5)]、花井十伍[6)]、杉山真一[7)]、桑原理恵[8)]、秋田美恵子[9)]、瀧 正志[10)]

1）聖マリアンナ医科大医学情報学分野
2）介護老人保健施設星のしずく
3）産業医科大学
4）東京医科大学臨床検査医学
5）社会福祉法人はばたき福祉事業団
6）ネットワーク医療と人権
7）原後綜合法律事務所
8）聖マリアンナ医科大学臨床研究データセンター
9）聖マリアンナ医科大学小児科
10）聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科

O31-169 ＨＩＶ感染被害患者の健康寿命仮説と生活機能尺度（ＩＣＦ）に基づく定量化の提案

久地井寿哉、柿沼章子、岩野友里、大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団

O31-170 薬害ＨＩＶ感染被害者の長期慢性炎症による健康悪化（第一報）～健康特性の定量化

岩野友里、久地井寿哉、柿沼章子、坂本玲子、大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団

O31-171 薬害ＨＩＶ感染被害者の長期慢性炎症による健康悪化（第二報）～対話的相談支援

坂本玲子、久地井寿哉、柿沼章子、岩野友里、大平勝美

社会福祉法人はばたき福祉事業団

O31-172 薬害ＨＩＶ感染被害患者を対象とした健康訪問相談における支援効果に関する質的評価

柿沼章子[1)]、久地井寿哉[1)]、岩野友里[1)]、阿部直美[2)]、大金美和[2)]、大平勝美[1)]

1）社会福祉法人はばたき福祉事業団
2）国立研究開発法人国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

O31-173 血液製剤由来HIV感染者の心理的支援方法の検討

藤原良次[1)]、橋本 謙[2)]、山田冨秋[3)]、種田博之[4)]、小川良子[5)]、早坂典生[1)]、藤原 都[1)]、白阪琢磨[6)]

1）特定非営利活動法人りょうちゃんず
2）岐阜県／愛知県スクールカウンセラー
3）松山大学
4）産業医科大学
5）広島大学病院
6）国立病院機構大阪医療センター

O31-174 HIV感染血友病患者の就労・非就労に関する問題の抽出と支援の検討

阿部直美[1)]、大金美和[1)]、久地井寿哉[2)]、岩野友里[2)]、柿沼章子[2)]、大平勝美[2)]、池田和子[1)]、潟永博之[1)]、菊池 嘉[1)]、岡 慎一[1)]

1）国立研究開発法人国立国際医療研究センター
2）社会福祉法人はばたき福祉事業団

■日時：11月26日（土） 10：45～11：45
■会場：F会場（大研修室3）

32 社会：薬物使用

座長 生島 嗣
（特定非営利活動法人ぷれいす東京）

髙田知恵子
（大妻女子大学 人間関係学部）

O32-175 薬物依存症クリニックを受診しているMSMの受診までの経緯 —診療録調査から—

肥田明日香[1)]、藤田彩子[2,3)]、白石玲子[1)]、中山雅博[1)]、樽井正義[3,4)]

1）医療法人社団アパリ アパリクリニック
2）東京大学大学院医学系研究科
3）特定非営利活動法人ぷれいす東京
4）慶應義塾大学

O32-176 広島大学病院における HIV 感染者の覚醒剤使用の現状とその再乱用防止支援

齊藤誠司[1)]、山崎尚也[1,2)]、藤井輝久[1,2)]、城下由衣[2)]、小川良子[3)]、池田有里[3)]、村上英子[2)]、喜花伸子[2)]、杉本悠貴恵[2)]、藤井健司[4)]、藤田啓子[4]、畝井浩子[4]、高田　昇[5)]

1）広島大学病院　輸血部
2）広島大学病院　エイズ医療対策室
3）広島大学病院　看護部
4）広島大学病院　薬剤部
5）中国電力株式会社中電病院　臨床検査科

O32-177 MSM の薬物使用・不使用に関わる要因の調査～薬物使用経験のある MSM を対象としたインタビュー調査から

生島　嗣[1)]、野坂祐子[2)]、山口正純[3)]、藤田彩子[4)]、大島　岳[5)]、三輪岳史[1)]、大槻知子[1)]、林　神奈[6)]、樽井正義[1,7)]

1）特定非営利活動法人ぷれいす東京
2）大阪大学大学院
3）武南病院
4）東京大学大学院
5）一橋大学大学院
6）University of British Columbia
7）慶應義塾大学

■日時：11 月 26 日（土） 9：00 ～ 10：30
■会場：G会場（大研修室 4）

33 社会：予防教育

座長　今村葉子
（特定非営利活動法人 Rin かごしま）

山中京子
（大阪府立大学　地域保健学域　教育福祉学類）

O33-178 陽性者が地域社会の中で安心して暮らせる街を～オープンにすることでの社会に与える意味～

萩原真実、今村葉子

特定非営利活動法人 Rin かごしま

O33-179 ゲイバーにおける MSM 向けワークショップ型介入プログラム「LIFEGUARD 2015」

藤部荒術[1)]、嶋田憲司[1)]、河口和也[2)]、高嶋能文[3)]、飯塚信吾[1)]、太田昌二[1)]、橋本広志[1)]

1）特定非営利活動法人　動くゲイとレズビアンの会（アカー）
2）広島修道大学
3）医療法人社団めぐみ会 自由が丘メディカルプラザ 2 小児科

O33-180 性の健康教育支援に向けた取り組み―松本市 HIV 等性感染症予防推進協議会「子どもの教育」部会活動より

山崎明美[1)]、金井信一郎[2)]、北野喜良[3)]、後藤裕子[4)]、小林和代[3)]、田中正一[5)]、佐藤亜矢子[5)]、古畑崇子[5)]

1）信州大学医学部保健学科
2）信州大学医学部附属病院
3）国立病院機構まつもと医療センター松本病院
4）松本性を語る会
5）松本市健康福祉部健康づくり課

O33-181 企業職員に対する HIV/ エイズに関する健康教育とアンケート

真木景子[1)]、細井舞子[2)]、安井典子[1)]、青木理恵[1)]、廣川秀徹[1)]、松本健二[1)]

1）大阪市保健所感染症対策課
2）大阪市健康局健康推進部健康づくり課

O33-182 モザンビークでの教員向けエイズ予防対策から見た、今後の日本の予防対策の考察―青年海外協力隊活動の現場経験から得たこと

斉藤　肇

有限責任監査法人トーマツ

一般演題プログラム
（一般演題）ポスター

※本号（（　）内）のページ数を掲載しております。

（一般演題）ポスター　　**プログラム／抄録**

ポスタービュー：	11月24日（木）	11：00～16：30
	11月25日（金）	9：00～16：45
	11月26日（土）	9：00～13：00
ポスターディスカッション：	11月24日（木）	16：30～17：15
	11月25日（金）	16：45～17：30

基礎	P-001～P-006	P.65	P.257
臨床	P-007～P-068	P.65	P.260
社会	P-069～P-092	P.71	P.291

（一般演題）ポスター

■日時：

ポスタービュー

11月24日（木） 11：00〜16：30
11月25日（金） 9：00〜16：45
11月26日（土） 9：00〜13：00

ポスターディスカッション

11月24日（木） 16：30 〜 17：15
11月25日（金） 16：45 〜 17：30

■会場：ポスター会場（大ホールB）

基　礎

P-001 Effect of HLA-E allele on disease progression in chronically HIV-1-infected Japanese population

Zou Chengcheng[1)]、Lin Zhansong[1)]、Oka Shinichi[2)]、Takiguchi Masafumi[1,3)]

1）Center for AIDS Research, Kumamoto university
2）AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine
3）Nuffield Department of Medicine, University of Oxford

P-002 表面プラズモン共鳴法を用いた新規HIV-1 侵入阻害剤活性評価法の樹立

松田幸樹[1)]、林　宏典[1)]、原田恵嘉[2)]、服部真一朗[1)]、鳴海哲夫[3)]、玉村啓和[4)]、吉村和久[2)]、満屋裕明[1,5,6)]、前田賢次[1)]

1）国立国際医療研究センター研究所 難治性ウイルス感染症研究部
2）国立感染症研究所 エイズ研究センター
3）静岡大学大学院 総合科学技術研究科工学専攻
4）東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 生体機能分子研究部門
5）National Cancer Institute・National Institute of Health
6）熊本大学総合臨床研究部・研究展開センター

P-003 HIV-1 潜伏感染に関わる細胞内因子探索のためのモデル細胞樹立

合田　仁[1,2)]、Liu Kai[2)]、井上純一郎[1,3)]、川口　寧[1,4)]、石田尚臣[1,2)]

1）東京大学医科学研究所　アジア感染症研究拠点
2）中国科学院　微生物研究所　日中連携研究室
3）東京大学医科学研究所　癌細胞増殖部門　分子発癌分野
4）東京大学医科学研究所　感染免疫部門　ウイルス病態制御分野

P-004 Role of HIV-1 Vif against APOBEC3H activity *in vivo*

Juarez-Fernandez Guillermo[1)]、Nakano Yusuke[1)]、Moriwaki Miyu[1)]、Yoshikawa Rokusuke[1)]、Yamada Eri[1)]、Soper Andrew[1)]、Misawa Naoko[1)]、Sato Kei[1,2)]、Koyanagi Yoshio[1)]

1）Laboratory of Viral Pathogenesis, Institute for Virus Research, Kyoto
2）University, Kyoto 6068507, Japan.、2CREST, JST, Saitama 3220012, Japan.

P-005 ラルテグラビル治療中に出現するHIV-1インテグラーゼ領域の遺伝的多型に関する研究

重見　麗[1)]、蜂谷敦子[1)]、岡崎玲子[1)]、松田昌和[1)]、今村淳治[1)]、横幕能行[1)]、岩谷靖雅[1,2)]

1）（独）国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
2）名古屋大学大学院 医学系研究科

P-006 東京都内公的検査機関のHIV検査で検出されたCRF07_BCの解析

長島真美、北村有里恵、鈴木康規、根岸あかね、神門幸大、吉田　勲、加来英美子、秋場哲哉、貞升健志

東京都健康安全研究センター　微生物部

臨　床

P-007 HIV感染症に合併した進行性多層性白質脳症に対して、マラビロクを組み合わせたARTを行い社会復帰が可能となった1例

廣瀬友城[1)]、諸井文子[1)]、中野滋文[1)]、二見仁康[1)]、堀場昌英[1)]、桑田加奈子[2)]

1）国立病院機構東埼玉病院呼吸器科
2）国立病院機構東埼玉病院看護部

P-008 HIV感染者においてサイトメガロウイルス活性化はカンジダ症の発症に影響を与えるか？

山崎尚也[1)]、齊藤誠司[1)]、藤井輝久[1)]、高田　昇[2)]

1）広島大学病院輸血部
2）中電病院臨床検査科

P-009 抗 HIV 薬とプロテアーゼ阻害薬併用による非 AIDS 指標悪性腫瘍に対する抗腫瘍活性の検討

三沢和央[1)]、前田卓哉[2)]、佐藤全伯[3)]、
淺野友彦[3)]、川名明彦[1)]

1）防衛医科大学校　感染症呼吸器内科学講座
2）埼玉医科大学　微生物学講座
3）防衛医科大学校　泌尿器科学講座

P-010 HIV 感染者の消化管組織から検出される HHV（human herpes virus）に関する検討

城谷　茜[1)]、津田千鶴[1)]、永田尚義[2)]、
岡原昂輝[2)]、島田高幸[2)]、林田庸総[1)]、
土屋亮人[1)]、潟永博之[1)]、菊池　嘉[1)]、
岡　慎一[1)]

1）国立国際医療研究センター病院エイズ治療研究開発センター
2）国立国際医療研究センター病院消化器内科

P-011 HIV 感染症＋慢性 C 型肝炎合併血友病 A に対して ART 継続中に C 型肝炎治療を行った 1 例

池田　博[1)]、井山　諭[1)]、佐藤　勉[1)]、
小船雅義[1)]、村上則子[2)]、宮越郁子[2)]、
國本雄介[3)]、加藤淳二[1)]

1）札幌医科大学血液内科
2）札幌医科大学付属病院看護部
3）札幌医科大学付属病院薬剤部

P-012 HIV/HCV 重複感染者における抗 HIV 薬と経口抗 HCV 薬との相互作用について

安田明子[1)]、下川千賀子[1)]、林　志穂[1)]、
南川知央[1)]、柏原宏暢[1)]、高山次代[2)]、
浅田裕子[2)]、辻　典子[4)]、小谷岳春[3)]、
渡邉珠代[3)]

1）石川県立中央病院薬剤部
2）石川県立中央病院　看護部
3）石川県立中央病院　診療部
4）エイズ予防財団

P-013 HIV 感染症 / 急性 B 型肝炎重複感染症例に迅速に抗 HIV 療法を開始せざるを得なかった 1 例

城川泰司郎、一木昭人、近澤悠志、備後真登、
村松　崇、四本美保子、萩原　剛、鈴木隆史、
天野景裕、山元泰之、福武勝幸

東京医科大学病院

P-014 Prevalence of chronic disease comorbidities and treatments in hospitalized Japanese HIV infected adults between 2010 and 2016- a cross sectional study

Daniel Ruzicka[1)]、Kentaro Imai[1)]、
Kenichi Takahashi[1)]、Toshio Naito[2)]

1）1MSD K.K.
2）Juntendo University Faculty of Medicine, Department of General Medicine

P-015 抗 HIV 薬とレジパスビル / ソホスブビル配合錠の併用時における腎機能への影響

前田真輝、大澤麻貴子、吉見　猛

医療法人財団荻窪病院

P-016 ベトナム人既治療 HIV 感染者における生活習慣病の頻度とその因子に関する研究

水島大輔[1,2)]、Kinh Nguyen[3)]、松本祥子[1)]、
潟永博之[1,2)]、菊池　嘉[1)]、岡　慎一[1,2)]

1）国立国際医療研究センター
2）熊本大学エイズ学研究センター
3）ベトナム国立熱帯病病院

P-017 当院における脂質異常症を合併した HIV 感染患者の現状

長與由紀子、城崎真弓、犬丸真司、
横田瑛里子、辻　麻理子、阪木淳子、
首藤美奈子、古賀康雅、高濱宗一郎、
南　留美、山本政弘

NHO 九州医療センター

P-018 全身状態不良で発見され、免疫再構築症候群などの様々な合併症を克服した粟粒結核の一例

彼谷裕康、吉森文子

富山県立中央病院　内科

P-019 ART 開始後、下痢の再燃・低 Na 決勝を認め、IRIS として CMV 腸炎、副腎不全を合併した一例

青島朋裕、井藤英之、岩田　暁、有馬丈洋、
神谷　亨

洛和会音羽病院　感染症科

P-020 日本における HIV 関連神経認知障害（HAND）の有病率および関連因子

木内　英、J-HAND studygroup

国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター

P-021 HAND が疑われた患者に神経心理学検査を活用した一事例 - 心理臨床家としての役割 -　第２報

緒方　釈[1)]、高木雅敏[2)]、宮川寿一[1)]、
松下修三[3)]、松岡雅雄[1)]

1）熊本大学医学部附属病院　血液内科・感染免疫診療部
2）熊本大学医学部附属病院看護部
3）熊本大学エイズ学研究センター

P-022 HIV 関連バイオマーカーと認知機能障害の相関関係に人種が与える影響：The Veterans Aging Cohort Study (VACS) Index という視点より

坂本麻衣子[1,2)]、Marquine Maria[2)]

1）佐賀大学医学部地域医療科学教育研究センター
2）University of California, San Diego, HIV Neurobehavioral Research Program

P-023 当院におけるインテグラーゼ阻害薬の使用について

右川　浩[1)]、阿部和史[1)]、高森幹雄[2)]、
阪下健太郎[2)]

1）東京都立多摩総合医療センター　薬剤科
2）東京都立多摩総合医療センター　呼吸器内科

P-024 本院における保険薬局との連携システム構築のためのアンケート調査結果

松井綾香[1)]、野村直幸[1)]、濱野有里[1)]、
坂田達朗[1)]、齊藤誠司[2)]、和田秀穂[3)]、
小山朋子[1)]、堀田修次[1)]、國原将洋[1)]、
相良義弘[1)]

1）国立病院機構福山医療センター
2）広島大学病院
3）川崎医科大学付属病院

P-025 DTG、TDF/FTC で治療中の HIV/HCV 重複感染患者へ Ledipasvir/Sofosbuvir を使用した１例

森下和美[1)]、野毛一郎[1)]、吉田康秀[2)]、
後藤信昭[3)]

4）沼津市立病院薬剤部
5）沼津市立病院呼吸器内科
6）沼津市立病院消化器内科

P-026 抗 HIV 療法施行中の患者における薬物間相互作用に関する検討—2011 年と 2016 年の比較—

國本雄介[1)]、池田　博[2)]、山崎紀恵子[1)]、
中田浩雅[1)]、野田師正[1)]、宮本　篤[1)]

1）札幌医科大学附属病院 薬剤部
2）札幌医科大学 医学部 血液内科

P-027 当院における Dolutegravir の使用状況とその効果の検討

松岡梨恵[1)]、石原正志[1,2)]、鶴見広美[2)]、
生駒良和[3)]、加藤寛子[1)]、伊藤善規[1)]、
鶴見　寿[2,3)]

1）岐阜大学医学部附属病院　薬剤部
2）岐阜大学医学部附属病院　エイズ対策推進センター
3）岐阜大学医学部附属病院　第一内科

P-028 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 1 報 CD4 値、HIV-RNA 量と治療の現状と推移

白阪琢磨[1)]、橋本修二[2)]、川戸美由紀[2)]、
日笠　聡[3)]、八橋　弘[4)]、岡　慎一[5)]、
福武勝幸[6)]

1）国立病院機構大阪医療センター
2）藤田保健衛生大学
3）兵庫医科大学
4）国立病院機構長崎医療センター
5）国立国際医療研究センター
6）東京医科大学

P-029 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 2 報 抗 HIV 薬の組み合わせの変更と CD4 値、HIV-RNA 量の関連性

川戸美由紀[1)]、橋本修二[1)]、岡　慎一[2)]、
福武勝幸[3)]、日笠　聡[4)]、八橋　弘[5)]、
白阪琢磨[6)]

1）藤田保健衛生大学
2）国立国際医療研究センター
3）東京医科大学
4）兵庫医科大学
5）国立病院機構長崎医療センター
6）国立病院機構大阪医療センター

P-030 名古屋医療センターにおけるドルテグラビル中止例の検討

加藤万理[1)]、戸上博昭[1)]、福島直子[1)]、
平野　淳[1)]、中畑征史[4)]、小暮あゆみ[4)]、
今村淳治[3)]、蜂谷敦子[2)]、岩谷靖雅[2)]、
松本修一[1)]、横幕能行[3)]

1）国立病院機構名古屋医療センター　薬剤部
2）国立病院機構名古屋医療センター　臨床研究センター　感染・免疫研究部
3）国立病院機構名古屋医療センター　エイズ治療開発センター
4）国立病院機構名古屋医療センター　呼吸器科
5）国立病院機構名古屋医療センター　感染症科

P-031 当院のドルテグラビル使用状況についての報告

内田里香、赤木圭太、渡部智貴、本郷知世、
加藤一郎、金田　暁

国立病院機構千葉医療センター

P-032 HIV 感染患者の非 AIDS 関連疾患による入院とウイルスコントロールへの影響

須佐友美[1)]、五十嵐　文[1)]、吉村　歩[1)]、
吉村幸浩[2)]、市田千佳[1)]、立川夏夫[2)]、
高橋賢成[1)]

1）横浜市立市民病院　薬剤部
2）横浜市立市民病院　感染症内科

P-033 当院における ART 療法レジメの変遷に関する検討

成田久美[1)]、佐々木信一[2)]、荒野直子[2)]、
一宮紀子[3)]、中澤武司[4)]、中田美紀子[5)]、
岩崎沙奈美[5)]、神楽知佐[6)]、塩路直子[6)]、
金森由和[7)]、古田あずさ[7)]、月山智美[8)]、
米山桂一[9)]、鈴木俊介[10)]、川島　徹[11)]

1）順天堂大学医学部附属浦安病院　薬剤科
2）呼吸器内科
3）皮膚科
4）感染対策室
5）看護部
6）医療福祉相談室
7）メンタルクリニック
8）健康管理室
9）情報管理室
10）医事課
11）総務課

P-034 HIV 母子感染予防における児への AZT 投与期間の短縮（４週間）に伴う短期的影響について

細川真一、松浦　潤、砂川ひかる、吉本民樹、
小野博也、袖野美穂、松井基浩、本田真梨、
西端みどり、加藤弘規、柏　直之、田中瑞恵、
五石圭司、七野浩之

国立国際医療研究センター小児科

P-035 抗 HIV 薬と併存疾患治療薬との薬物相互作用に関する取り組み～一覧表の作成～

神尾咲留未[1)]、阿部憲介[1)]、近藤　旭[1)]、
小山田光孝[1)]、佐々木晃子[2)]、伊藤ひとみ[2)]、
佐藤　功[2,3)]、伊藤俊広[2)]

1）独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
2）独立行政法人国立病院機構仙台医療センター　感染症内科
3）医療法人医徳会真壁病院

P-036 ART 施行中に腎性糖尿を来した HIV 感染症例の検討

宮川寿一[1)]、田上直美[2)]、中田浩智[1)]、
松岡雅雄[1)]

1）熊本大学医学部附属病院　血液内科・感染免疫診療部、
2）熊本大学医学部附属病院　薬剤部

P-037 尿β２ミクログロブリンの TDF 腎障害の予測における有用性

西島　健[1)]、黒澤匠雅[2,3)]、田中紀子[2)]、
川崎洋平[2)]、潟永博之[1)]、菊池　嘉[1)]、
岡　慎一[1)]

1）国立国際医療研究センター　エイズ治療・研究開発センター
2）国立国際医療研究センター　臨床研究センター医療情報解析研究部医学統計研究室
3）東京理科大学大学院理学研究科

P-038 エルビテグラビルおよびコビシスタットの血漿トラフ濃度に関する検討

矢倉裕輝[1)]、中内崇夫[1)]、冨島公介[1)]、
山本雄大[2)]、湯川理己[2)]、新井　剛[2)]、
廣田和之[2)]、伊熊素子[2)]、上地隆史[2)]、
笠井大介[2)]、渡辺　大[2)]、西田恭治[2)]、
吉野宗宏[3)]、上平朝子[2)]、白阪琢磨[2)]

1）国立病院機構　大阪医療センター　薬剤部
2）国立病院機構　大阪医療センター　感染症内科
3）国立病院機構　大阪南医療センター　薬剤部

P-039 当院の HIV 患者における処方形態および服薬アドヒアランスの現状

土屋広行[1)]、金井信一郎[2)]、牛木淳人[3)]、
小林裕子[4)]、小堀福子[4)]、山崎明美[5)]、
神田博仁[1)]、山折　大[1)]、大森　栄[1)]

1）信州大学医学部附属病院薬剤部
2）信州大学医学部附属病院感染制御室
3）信州大学医学部附属病院呼吸器・感染症・アレルギー内科
4）信州大学医学部附属病院医療福祉支援センター
5）信州大学医学部保健学科

P-040 トリーメク配合錠の服用感に関するアンケート調査

川上麻衣[1)]、日笠真一[1)]、秀田恭子[1)]、
黒田訓宏[1)]、日笠　聡[2)]、澤田暁宏[2)]、
徳川多津子[2)]、木村　健[1)]

1）兵庫医科大学病院薬剤部
2）兵庫医科大学血液内科

P-041 アドヒアランスに影響を与える因子について

下川千賀子[1)]、安田明子[1)]、南川知央[1)]、
高山次代[2)]、浅田裕子[2)]、辻　典子[3)]、
柏原宏暢[1)]、渡辺珠代[4)]

1）石川県立中央病院薬剤部
2）石川県立中央病院看護部
3）エイズ予防財団
4）石川県立中央病院免疫感染症科

P-042 テノホビルを含む抗 HIV 薬の味覚マスキングについての検討

関根祐介[1)]、笹津備尚[2)]、矢島敏行[3)]、
平野智理[1)]、小野愛莉菜[1)]、金子亜希子[1)]、
長尾達哉[1)]、山元泰之[4)]、鈴木隆史[4)]、
天野景裕[4)]、明石貴雄[1)]、輪千浩史[2)]、
福武勝幸[4)]

1）東京医科大学病院　薬剤部
2）星薬科大学　組織再生学
3）アルファ・モス・ジャパン株式会社
4）東京医科大学　臨床検査医学分野

P-043 新規インテグラーゼ阻害薬（EVG・DTG）から他剤への変更例の検討

宮本愛梨沙[1)]、宇高　歩[1)]、那波みゆき[1)]、
安井友佳子[1)]、石坂敏彦[1)]、草間加与[2)]、
松浦基夫[3)]、大成功一[4)]

1）堺市立総合医療センター薬剤科
2）堺市立総合医療センター呼吸器内科
3）堺市立総合医療センター腎代謝免疫内科
4）堺市立総合医療センター診療科

P-044 抗 HIV 薬の服薬条件に関するアンケート調査

山本有紀[1)]、櫛田宏幸[1)]、村田真弓[2)]、
藤井希代子[2)]、吉野宗宏[3)]、田中三晶[1)]

1）国立病院機構　姫路医療センター 薬剤部
2）国立病院機構　姫路医療センター　看護部
3）国立病院機構　大阪南医療センター　薬剤部

P-045 HIV 感染児における認知機能と臨床経過の関係

田中瑞恵[1,2,5)]、飯田敏晴[2,3)]、川崎洋平[2,4)]、
井出和希[4)]、外川正生[5)]、塚原優己[5)]、
吉野直人[5)]、喜多恒和[5)]、細川真一[1,5)]、
瓜生英子[1)]、山中純子[1)]、大熊香織[1)]、
山田　浩[4)]、菊池　嘉[6)]、岡　慎一[6)]、
七野浩之[1)]

1）国立国際医療研究センター小児科
2）HIV 母子感染児における神経学的予後についての研究班
3）山梨英和大学人間文化学部
4）静岡県立大学薬学部薬学科医薬品情報解析学分野
5）HIV 感染妊婦とその出生児の調査・解析および診療・支援体制の整備に関する総合的研究班
6）国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

P-046 我が国の妊婦 HIV スクリーニング検査実施率の推移と妊娠後期での検査実施の現状

吉野直人[1)]、杉浦　敦[2)]、高橋尚子[1,2)]、
伊藤由子[2)]、杉山　徹[2)]、田中瑞恵[2)]、
谷口晴記[2)]、蓮尾泰之[2)]、稲葉憲之[2)]、
和田裕一[2)]、塚原優己[2)]、喜多恒和[2)]

1）岩手医科大学医学部微生物学講座
2）厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染妊娠に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」班

P-047 高知大学医学部附属病院における HIV 感染者の歯科受診の実態調査

中村美保[1)]、武内世生[1)]、山本哲也[2)]

1）高知大学医学部附属病院エイズ治療対策チーム
2）高知大学医学部附属病院歯科口腔外科

P-048 都道府県における HIV 感染症の歯科医療体制整備状況の経年比較

田村光平[1)]、秋野憲一[2)]、遠藤浩正[3)]、
宮田　勝[4)]、宇佐美雄司[5)]

1）東京都西多摩保健所
2）厚生労働省老健局老人保健課
3）埼玉県東松山保健所
4）石川県立中央病院
5）国立病院機構名古屋医療センター

P-049 味覚障害を契機に HIV 感染症と診断された一例

松原　誠[1)]、伊藤公人[2)]、片浦貴俊[1)]、
松井香奈枝[3)]、安藤友恵[4)]、伊藤正樹[1)]

1）社会医療法人宏潤会大同病院歯科口腔外科
2）社会医療法人宏潤会大同病院血液・化学療法科
3）社会医療法人宏潤会大同病院薬剤部
4）社会医療法人宏潤会大同病院看護部

P-050 抗 HIV 薬が口腔環境と味覚機能に及ぼす影響

新谷智章[1)]、山崎尚也[2,6)]、岩田倫幸[3)]、
齊藤誠司[2,6)]、北川雅恵[1)]、小川郁子[1)]、
岡田美穂[4)]、松井加奈子[4)]、濱本京子[6)]、
畝井浩子[5)]、藤田啓子[5)]、小川良子[7)]、
木下一枝[7)]、池田有里[7)]、藤井輝久[2,6)]、
柴　秀樹[1,8)]

1）広島大学病院口腔検査センター
2）広島大学病院輸血部
3）広島大学病院歯周診療科
4）広島大学病院歯科衛生部門
5）広島大学病院薬剤部
6）広島大学病院エイズ医療対策室
7）広島大学病院看護部
8）広島大学大学院医歯薬保健学研究院　歯髄生物学研究室

P-051 齲蝕のため全抜歯に至った寝たきり HIV 感染者の 1 例

阪本直也、鷲野巧弥、太田雅之、彦根麻由、
岩渕千太郎

東京都立墨東病院感染症科

P-052 歯科衛生士専門学校生における HIV 感染症の知識調査

宮浦朗子[1)]、宮田　勝[2)]、山本裕佳[1)]、
高木純一郎[2)]、渡邉珠代[3)]、高山次代[4)]、
辻　典子[5)]

1）石川県立中央病院　歯科技術室
2）石川県立中央病院　歯科口腔外科
3）石川県立中央病院　免疫感染症科
4）石川県立中央病院　看護部
5）エイズ予防財団リサーチレジデント

P-053 当院における HIV 感染血友病患者の看護体制の現状と課題の検討

石井祥子[1)]、服部久恵[1)]、小森真美[1)]、
鈴木明美[1)]、高波真司[1)]、照屋勝治[2)]、
菊池　嘉[2)]、岡　慎一[1,2)]

1）国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
　12 階東病棟
2）国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
　エイズ治療・研究開発センター

P-054 末期脳悪性リンパ腫 AIDS 患者をスムーズに在宅療養へと繋げられた事例

坂本早輝[1)]、若松　綾[1)]、滝本麻衣[1)]、
石川朋子[2)]、末盛浩一郎[3)]、中尾　綾[3)]、
乗松真広[4)]、木村博史[4)]、小野恵子[2)]、
岩村弘子[1)]、井門敬子[4)]、高田清式[5)]

1）愛媛大学医学部附属病院 看護部
2）愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター
3）愛媛大学医学部附属病院 第一内科
4）愛媛大学医学部附属病院 薬剤部
5）愛媛大学医学部附属病院 臨床研修センター

P-055 認知機能障害を合併した HIV 患者の退院後の環境調整と母親への関わり

大高祐美[1)]、荻野麻美[1)]、中村聡洋[1)]、
手嶋千とせ[1)]、小林瑞枝[1)]、柳澤邦雄[2)]、
小川孔幸[2)]、城田陽子[3)]、石崎芳美[1)]、
兒玉智子[4)]、合田　史[5)]、内海英貴[6)]、
野島美久[2)]、半田　寛[2)]

1）群馬大学医学部附属病院　看護部
2）群馬大学医学部附属病院　血液内科／群馬大学大学院医学系研究科　生体統御内科
3）群馬大学医学部附属病院　患者支援センター
4）群馬大学医学部附属病院　薬剤部
5）国立病院機構　高崎総合医療センター　総合診療科
6）医療法人社団日高会　白根クリニック

P-056 沖縄県における病院での HIV 職業的暴露後の予防内服整備状況

諸見牧子[1)]、上原　仁[1)]、外間惟夫[1)]、
中村克徳[1)]、前田サオリ[2)]、宮城京子[2)]、
健山正男[3)]

1）琉球大学医学部附属病院薬剤部
2）同大学医学部附属病院看護部
3）同大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座

P-057 亜急性に進行した HIV 関連脊髄症の一例

橋本武博、木内　英、安藤尚克、篠原　浩、
上村　悠、柴田　怜、柳川泰昭、小林泰一郎、
水島大輔、青木孝弘、西島　健、照屋勝治、
潟永博之、塚田訓久、菊池　嘉、岡　慎一

国立国際医療研究センター病院エイズ治療研究開発センター

P-058 メンタルヘルスに問題のある患者の受診支援を通して　―第二報―

前田サオリ[1)]、宮城京子[1)]、健山正男[2)]、
石郷岡美穂[3)]、諸見牧子[4)]、上原　仁[4)]、
大城市子[5)]、辺土名優美子[5)]、本永久美子[1)]、
下地孝子[1)]、藤田次郎[2)]

1）琉球大学医学部附属病院看護部
2）同大学医学部研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座
3）同病院地域医療部
4）同病院薬剤部
5）沖縄県 HIV 派遣カウンセラー

P-059 薬剤師が薬剤選択と処方設計に関わることで奏効した癲癇合併 HIV 感染症例

嶺　豊春[1)]、松永典子[1)]、室　高広[1)]、
柳原克紀[2)]、佐々木　均[1)]

1）長崎大学病院　薬剤部
2）長崎大学病院　検査部

P-060　ST 合剤によるアナフィラキシーショック後に減感作を施行して 1 次予防継続し得た AIDS 症例

齋藤和義[1)]、田中宏明[1)]、吉成紘子[1)]、
中野和久[1)]、鈴木克典[1)]、田中美佐子[2)]、
長野裕子[2)]、田中良哉[1)]

1）産業医科大学医学部第 1 内科
2）産業医科大学病院看護部

P-061　本院における DTG/ABC/3TC への使用例の特徴とその有効性の検討

野村直幸[1)]、松井綾香[1)]、濱野有里[1)]、
坂田達朗[1)]、齊藤誠司[2)]、和田秀穂[3)]、
堀田修次[1)]、小山朋子[1)]、國原将洋[1)]、
相良義弘[1)]

1）福山医療センター
2）広島大学病院
3）川崎医科大学附属病院

P-062　「演題取消し」

P-063　ホスアンプレナビルによる発熱を伴う多形紅斑型薬疹が疑われた 1 例

服部公紀[1)]、坂部茂俊[2)]、水野みどり[3)]、
谷村　学[1)]

1）伊勢赤十字病院薬剤部
2）伊勢赤十字病院感染症内科
3）伊勢赤十字病院皮膚科

P-064　HIV 感染者における胃炎と腸管遊走性 CD4 陽性 T 細胞の検討

佐藤秀憲[1,2)]、大田泰徳[3)]、松原康朗[3)]、
菊池　正[3)]、古賀道子[3)]、鯉渕智彦[3)]、
俣野哲朗[1)]、立川　愛[1)]、安達英輔[3)]

1）国立感染症研究所エイズ研究センター
2）防衛医科大学校医学教育部医学科内科学講座
（感染症・呼吸器）
3）東京大学医科学研究所附属病院

P-065　HIV 感染者の脳脊髄液検査に関する後方視的研究

安達英輔[1)]、佐藤秀憲[2,3)]、松澤幸正[1)]、
菊地　正[1)]、古賀道子[1)]、立川　愛[2)]、
鯉渕智彦[1)]、四柳　宏[1)]

1）東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
2）国立感染症研究所エイズ研究センター
3）防衛医科大学校医学教育部医学科内科学講座
（感染症・呼吸器）

P-066　総合診療医が、地方の中規模病院で、HIV 診療に携わったら　- 多職種連携や継続性の視点から -

小松真成、西畠　信

鹿児島生協病院

P-067　ベトナム HIV 感染者のうつ病におけるソーシャルサポートの意義

松本祥子[1,2)]、田沼順子[1)]、水島大輔[1)]、
山岡和枝[2)]、高橋謙造[2)]、
Nguyen Thi Dung[3)]、
Nguyen Thi Hoai Dung[3)]、
Nguyen Van Kinh[3)]、岡　慎一[1)]

1）国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
2）帝京大学大学院公衆衛生学研究科
3）ハノイ国立熱帯病病院

P-068　ドロップレットデジタル PCR 法を活用した HIV-2 ウイルス量測定法の開発

濱野章子[1)]、前島雅美[1)]、岡田彩加[1)]、
今村淳治[1,2)]、蜂谷敦子[1)]、横幕能行[1,2)]、
岩谷靖雅[1,3)]

1）(独)国立病院機構名古屋医療センター　臨床研究センター　感染・免疫研究部
2）(独)国立病院機構名古屋医療センター　感染症科
3）名古屋大学大学院医学系研究科

社　会

P-069　HIV 陽性献血者の女性高年齢化傾向と、他の感染症との共感染について

篠原直也、松本千恵子、松林圭二、永井　正、
佐竹正博

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所感染症解析部

P-070　HIV サポートリーダー養成研修　7 年間のまとめ

佐保美奈子[1)]、古山美穂[1)]、山田加奈子[1)]、
高知　恵[1)]、岡本友子[2)]、白阪琢磨[3)]

1）大阪府立大学大学院　看護学研究科
2）ハシイ産婦人科、3 国立大阪医療センター

P-071　医療機関と NGO の連携による郵送検査の手法を用いた HIV 検査の取り組み

高野　操[1)]、岩橋恒太[2)]、荒木順子[2)]、
佐久間久弘[2)]、木南拓也[2)]、生島　嗣[3)]、
佐藤郁夫[3)]、中山保世[4)]、小日向弘雄[4)]、
友成喜代美[5)]、土屋亮人[5)]、杉野祐子[5)]、
池田和子[5)]、小形幹子[5)]、田中和子[5)]、
市川誠一[6)]、菊池　嘉[5)]、岡　慎一[5)]

1）国立国際医療研究センター
2）NPO法人akta
3）NPO法人ぷれいす東京
4）東新宿こころのクリニック
5）国立国際医療研究開発センター　エイズ治療・研究開発センター
6）人間環境大学

P-072　東北海道の 4 拠点病院の現状と抗 HIV 薬の院外処方のアンケート調査

高橋道生[1)]、大森健太郎[1)]、久保淳一[4)]、
足立　浩[5)]、菅野雄太[6)]、金森美香[2)]、
宮城島拓人[3)]

1）独立行政法人労働者健康安全機構　釧路労災病院　薬剤部
2）独立行政法人労働者健康安全機構　釧路労災病院　看護部
3）独立行政法人労働者健康安全機構　釧路労災病院　内科
4）JA 北海道厚生連　遠軽厚生病院　薬剤科
5）総合病院　釧路赤十字病院　薬剤部
6）市立釧路総合病院　薬剤部

P-073　抗 HIV 薬の院外処方促進への取り組み

岡崎雅史[1,2)]、中村美保[1)]、今井顕子[1,2)]、
武内世生[1,3)]

1）高知大学医学部附属病院エイズ治療対策チーム
2）高知大学医学部附属病院薬剤部
3）高知大学医学部附属病院総合診療部

P-074　都市型急性期病院である社会医療法人が「エイズ治療拠点病院」としての診療活動を行う意義について

伊藤公人[1)]、松原　誠[2)]、片浦貴俊[2)]、
松井香奈枝[3)]、安藤友恵[4)]

1）社会医療法人宏潤会大同病院血液・化学療法内科
2）社会医療法人宏潤会大同病院歯科口腔外科
3）社会医療法人宏潤会大同病院薬剤部
4）社会医療法人宏潤会大同病院看護部

P-075　松本市エイズ・HIV 等性感染症予防啓発推進協議会の 10 年の活動報告と今後の課題

金井信一郎[1)]、北野喜良[2)]、山崎明美[3)]、
小林和代[2)]、小竹美千穂[4)]、後藤裕子[5)]、
田中正一[6)]、佐藤亜矢子[6)]、古畑崇子[6)]

1）信州大学医学部附属病院
2）まつもと医療センター松本病院
3）信州大学医学部保健学科
4）藤森病院
5）松本性を語る会
6）松本市健康福祉部健康づくり課

P-076　「HIV 感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業　支援チーム派遣事業」を利用し転院調整に成功した AIDS2 事例

田中美佐子[1)]、齋藤和義[2)]、鈴木克典[2,3)]、
稲村由香[4)]、寺本美江子[3)]、小野織江[1)]、
野田雅美[5)]、曽我真千恵[2)]、長野裕子[1)]

1）産業医科大学病院 看護部
2）産業医科大学病院　膠原病リウマチ内科
3）産業医科大学病院　感染制御部
4）産業医科大学病院　薬剤部
5）産業医科大学病院　事務部医療支援課

P-077　厚木市立病院における抗 HIV 薬の変遷

加瀬博貴[1)]、岩崎弥生[1)]、福島ゆきよ[2)]、
中村繭子[2)]、岩崎春菜[3)]、岩室紳也[4)]

1）厚木市立病院　薬剤科
2）厚木市立病院　看護局
3）神奈川県保健福祉局保健医療部健康危機管理課
4）厚木市立病院　泌尿器科

P-078　当薬局における障害程度等級別の薬剤料の比較について

田橋美佳[1)]、石川文規[2)]、竹内大悟[3)]

1）薬樹薬局　三ツ沢
2）薬樹薬局　三ツ沢２号店
3）一般社団法人　ソーシャルユニバーシティ

P-079　全国保健所における梅毒検査体制のアンケート調査

星野慎二[1)]、井戸田一朗[2)]、佐野貴子[3)]、
近藤真規子[3)]、今井光信[4)]、加藤真吾[5)]

1）特定非営利活動法人ＳＨＩＰ
2）しらかば診療所
3）神奈川県衛生研究所
4）田園調布学園大学
5）慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

P-080 HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査（2015）

須藤弘二[1)]、佐野貴子[2)]、近藤真規子[2)]、
今井光信[3)]、木村　哲[4)]、加藤真吾[1)]

1）慶應義塾大学医学部　微生物学・免疫学教室
2）神奈川県衛生研究所　微生物部
3）田園調布学園大学
4）東京医療保健大学

P-081 医療機関と NGO の連携による HIV 検査キット配布会における対面相談希望者の相談内容に関する検討

佐藤郁夫[1)]、福原寿弥[1)]、生島　嗣[1)]、
岩橋恒太[2)]、荒木順子[2)]、岡慎一[3)]、
高野　操[4)]

1）特定非営利活動法人　ぷれいす東京
2）akta
3）国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
4）国立国際医療研究センター臨床研究試料管理室

P-082 CDC が推奨する HIV 検査手順の検討と HIV-1/2 鑑別検査キット Geenius の検討

加藤真吾[1)]、須藤弘二[1)]、佐野貴子[2)]、
近藤真規子[2)]、藤原　宏[3)]、長谷川直樹[3)]

1）慶應義塾大学医学部　微生物学・免疫学教室
2）神奈川県衛生研究所　微生物部
3）慶應義塾大学病院　感染制御センター

P-083 常設夜間休日 HIV 検査場における HIV および STI（その他性感染症）の現状と今後の対応

毛受矩子

四天王寺大学教育学部教育学科

P-084 HIV 検査・相談マップを用いた HIV 検査相談施設の情報提供およびサイト利用状況の解析

佐野貴子[1)]、須藤弘二[2)]、星野慎二[3)]、
井戸田一朗[4)]、杉浦太一[5)]、清水茂徳[6)]、
近藤真規子[1)]、加藤真吾[2)]、今井光信[7)]、
市川誠一[8)]

1）神奈川県衛生研究所　微生物部
2）慶應義塾大学医学部　微生物学・免疫学教室
3）特定非営利活動法人 SHIP
4）しらかば診療所
5）株式会社 CINRA
6）東日本国際大学
7）田園調布学園大学
8）人間環境大学

P-085 HIV 陽性者のカウンセリングに何が求められているか－効果測定に関する多面的指標の探索－

清水亜紀子[1)]、仲倉高広[2)]、荒木浩子[3)]、
高橋紗也子[4)]、田中史子[5)]、野田実希[2)]、
古野裕子[6)]、山本喜晴[7)]、大山泰宏[2)]

1）京都市立病院
2）京都大学大学院　教育学研究科
3）追手門学院大学　心理学部
4）社会医療法人　かりゆし会ハートライフクリニック
5）人間環境大学　人間環境学部
6）葵橋ファミリー・クリニック
7）関西国際大学　人間科学部

P-086 地方都市の拠点病院に通院する HIV 感染者のカウンセリングから抽出した心理社会的な課題

飯塚暁子[1)]、坂田達朗[1)]、木梨貴博[1)]、
松井綾香[1)]、野村直幸[1)]、村上由佳[1)]、
大山紗よ子[1)]、齊藤誠司[2)]、和田秀穂[3)]

1）国立病院機構　福山医療センター
2）広島大学病院
3）川崎医科大学附属病院

P-087 心理士介入も自死に至った 3 名の HIV 陽性者から自殺予防を検討する

松岡亜由子[1)]、小暮あゆみ[1)]、石原真理[1)]、
桐山佳奈[1,2)]、羽柴知恵子[1)]、蜂谷敦子[3)]、
岩谷靖雅[3)]、横幕能行[1)]

1）(独)国立病院機構名古屋医療センター
2）(公財)エイズ予防財団
3）(独)国立病院機構名古屋医療センター感染・免疫研究部

P-088 臨床心理士対象初心者向け研修における研修効果の検討：研修前後の不安の変化と活動参加意思の変化から

杉本悠貴恵[1,2)]、喜花伸子[1)]、山崎尚也[1)]、
齋藤誠司[1)]、藤井輝久[1)]、城下由衣[1)]、
池田有里[1)]、小川良子[1)]、木下一枝[1)]、
藤井健司[1)]、藤田啓子[1)]、畝井浩子[1)]、
村上英子[1,2)]、内野悌司[3)]、高田　昇[4)]

1）広島大学病院
2）公益財団法人　エイズ予防財団
3）広島大学保健管理センター
4）中国電力株式会社中電病院

P-089　風景構成法を通したHIV陽性患者への心理支援

中尾　綾[1)]、坂本早輝[2)]、滝本麻衣[2)]、
石川朋子[3)]、小野恵子[3)]、若松　綾[2)]、
西村勇介[4)]、木村博史[5)]、井門敬子[5)]、
末盛浩一郎[1)]、山之内純[1)]、安川正貴[1)]、
高田清式[6)]

1）愛媛大学医学部附属病院　第一内科
2）看護部
3）総合診療サポートセンター
4）リハビリテーション部
5）薬剤部
6）臨床研修センター

P-090　言語能力が低下した進行性多巣性白質脳症発症のAIDS患者とのコラージュ療法による関わり

石原真理[1)]、今村淳治[1)]、森　祐子[2)]、
松岡亜由子[1)]、桐山佳奈[1,3)]、羽柴知恵子[1,4)]、
蜂谷敦子[5)]、岩谷靖雅[5)]、横幕能行[1)]

1）名古屋医療センターエイズ治療開発センター
2）名古屋市健康福祉局健康部保健医療課
3）エイズ予防財団
4）名古屋医療センター看護部
5）名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

P-091　HIV陽性者の受診行動に影響を与える性格傾向の情動知能尺度を用いた解析

桐山佳奈[1,2)]、松岡亜由子[1)]、石原真理[1)]、
森　祐子[3)]、羽柴知恵子[4)]、蜂谷敦子[5)]、
岩谷靖雅[5)]、横幕能行[1)]

1）名古屋医療センターエイズ治療開発センター
2）エイズ予防財団
3）名古屋市健康福祉局保健医療課
4）名古屋医療センター看護部
5）名古屋医療センター感染・免疫研究部

P-092　CHARM（Center for Health And Rights of Migrants）のHIV陽性者支援活動

松浦基夫[1,2)]、福嶋香織[2)]、大田黒尚子[2)]、
寶來徳子[2)]、Prach Pongkijvorasin[2)]、
吉田昌浩[2)]、平松マリア[2)]、松田千秋[2)]、
武田　丈[2)]、中萩エルザ[2)]、白野倫徳[2)]、
福村和美[2)]、横田恵子[2)]、榎本てる子[2)]、
青木理恵子[2)]

1）堺市立総合医療センター腎代謝免疫内科
2）NPO法人CHARM